

異常な行動が記録されている事例

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-00913386	不明	■歳	150 mg	なし	易興奮性	軽快	インフルエンザ治療にリン酸オセルタミビル服用開始。母親から医師への連絡では、服用した夜、就寝中に暴れた。患者は薬を飲むのが嫌いで、以前にも他剤で夜中に暴れたことがあった。本剤投与中止し興奮軽快。
2	B-02901480	男	■歳	75 mg	トシル酸トスフロキサシン ザルトプロフェン	妄想 幻覚	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与。投与1時間後(夜間)に幻覚・妄想が出現。その後、回復したが、翌朝の服用(2時間)後に再び幻覚・妄想が出現し、包丁を持ち出す。来院後、投与を中止。症状は回復。併用薬の投与量・時点は不明。
3	B-02901634	男	■歳	25 mg	アミノフィリン 塩酸ツロブテロール カルボシステイン 塩酸アンブロキシソール オキサトミド プラナルカスト水和物 エリスロマイシン コハク酸ヒドロコルチゾンナトリウム	興奮	回復	気管支炎のため入院、酸素 Tent 収容。朝よりやや興奮傾向あり。インフルエンザ予防のため、夕方から本剤を投与。本剤投与後、一日中声を出して騒ぐ状態であった。本剤服用5日目、投与中止。翌日興奮回復しその翌日退院となる。
4	B-02902847	男	■歳	75 mg	アスピリン ワルファリンカリウム ジピリダモール カルボシステイン リン酸ジメモルファン	譫妄	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル 75mg/日を投与開始。投与1回目の1時間後に意味不明の発語及び行動が観察される。有害事象発現3時間後に回復、有害事象発現時の記憶なし。以後本剤の服用中止。
5	B-02913397	女	7■歳	150 mg	硝酸イソソルビド バルサルタン オメプラゾール 酸化マグネシウム トリアゾラム センノシドA、B センノシド 塩酸パロキセチン水和物 マレイン酸レボメプロマジン	妄想 落ち着きのなさ	軽快	被害妄想顕性化のため入院加療、抑うつ神経症の診断あり。インフルエンザ感染症を疑い、リン酸オセルタミビル 150mg/日5日分を処方。投与3日目未明、意味不明語、妄想、不穏、徘徊あり。他剤投薬により少しずつ精神状態安定化。本剤継続。本剤5日間の投与終了後、3日目に症状軽快し、経過観察中。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
6	B-02914446	女	■歳	36 mg	セフポドキシムプロキセチル トシル酸スルタミシリン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン	高揚状態	回復	発熱により他院受診。セフポドキシムプロキセチルが処方。2日後、リン酸オセルタミビル他を処方より服用開始。服用開始2日後、気分高揚症状発現。母親によるとほろ酔い状態であるとのこと。服用開始4日目の朝で服用中止、その後次第に気分高揚状態が軽快。服用後7日後に回復。医師は、本剤を中止したのみで症状が回復しているため、因果関係ありと考察。
7	B-03008735	女	8■歳	150 mg	乳酸リンゲル液 医療用酸素	全健忘	回復	上咽頭粘膜のインフルエンザA抗原陽性と診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与3日目まで有害事象発現せず。最終投与後未明に失見当識及び病棟内徘徊(但しミオクロームスはなし)。翌朝も記憶力低下が観察される。患者家族と相談の結果退院後、処置なしで回復。但し、有害事象継続中の記憶は欠如のまま。
8	B-03009902	男	1■歳	150 mg	dl-マレイン酸クロルフェニラミン カンゾウ抽出物・メタケイ酸アルミン酸マグネシウム ヒベンズ酸チペピジン 塩化リゾチーム プロチン キョウニン水 単シロップ トローチ〔複合〕 ポピドンヨード アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。同日夜、75mgを服用し、その2時間半後、家の中を走り回ったり、意味不明の奇声など異常行動出現。40分後、受診したが、受診時の意識は正常、譫妄状態時の記憶なし。点滴し1時間ほどで帰宅。翌日もリン酸オセルタミビル150mg/日を服用(併用薬も継続)。異常所見なく、6日間服用し終了。
9	B-03010203	男	1■歳	150 mg		妄想	未回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。同日夜、内服。翌日昼、解熱したが、異常な発言あり。その翌日、本剤の投与中止。その後言動のまとまりがなくなり、統合失調症の発症が疑われた。本剤投与中止12日目に、幻覚妄想が活発に認められ、入院。病院内を落ちつきなく徘徊。幻覚妄想は未回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
10	B-03011945	男	1歳	150 mg	非ピリン系感冒剤	異常行動	回復	診断キット(一)だが、リン酸オセルタミビル150mg/日及び非ピリン系感冒剤を処方。夜、1回分を服用後、翌明け方、39℃の熱と、意味不明の発言、尿失禁あり。朝、本剤を内服し、午後から解熱。夕方、意味不明の発言が見られ、玄関とは全く違う方向へ歩いていこうとしたが、家人の呼びかけで元に戻った。受診したが、受診時は意識清明。内服薬を中止し、入院して様子を見たが、異常行動はなかった。
11	B-03900831	女	3歳	150 mg	アセトアミノフェン 安息香酸ナトリウムカフェイン 開始液 セフポドキシムプロキセチル 塩化リゾチーム dl-マレイン酸クロルフェニラミン サリチル酸ナトリウム 鎮咳剤 アスコルビン酸・L-システイン カルボシステイン	不安 知覚過敏	回復	発熱(38~39℃)、頭痛、関節痛、咽頭痛、咽頭発赤、不穏状態にて本剤投与開始。 翌日の夜中、不眠、不安発現。服用中止。 翌日、幻覚発現し、来院。その後も興奮状態続き、知覚過敏が発現。 その2日後、不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消失。 その5日後、回復
12	B-03900982	男	1歳	150 mg	クラリスロマイシン 臭化水素酸デキストロトルファン カルボシステイン リン酸コデイン 酸化マグネシウム	異常行動	回復	B型インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビル及び他の併用薬服用開始。服用2日目の16時異常行動発現(突然2階から降りてくる、ウサギ跳びをする、異常な発言)、家族がなだめ就眠。20~21時異常行動(ベッドから飛び降りる、異常な発言あり)。3日目朝全て薬剤中止。異常行動発現5日後に回復。
13	B-03901038	女	1歳	150 mg	塩酸チアラミド リン酸ジヒドロコデイン 塩酸メチルエフェドリン マレイン酸クロルフェニラミン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。夕方、75mgを服用。翌日、39℃の熱が下降すると同時に走り始め窓から飛び降りようとしたり、奇声を発した。翌日も同様の状態が続いた。2日後には症状はなくなり、投与開始5日目の朝の服用で本剤の投与終了。
14	B-03901089	男	2歳	75 mg	クラリスロマイシン セラペプターゼ 消化酵素 耐性乳酸菌	気分変動	回復	発熱、咳、咽頭痛等有り受診、A型インフルエンザと診断。治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。本剤投与10分後、気分変動有り、何をするか分からない(例えば刃物を振り回すかもしれない)感じがした。玄関の辺りでドアを蹴飛ばしたりした後、倒れていたため、救急搬送される。病院にて処置を受けた後帰宅。その後、症状回復。

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
15	B-03905859	男	■歳	150 mg	塩酸セフカペンピポキシル セラペプターゼ フェジゾ酸クロペラスチン	無感情 異常行動 意識レベルの低下	回復	微熱が持続していたため、臨床的にインフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与2日後返答しない、活動性低下の変化を認め、本剤投与中止。中止後、翌日、翌々日と突然意味不明の発言や行動が見られる。その後、徐々に活気改善し異常行動認められず。
16	B-03933860	女	■歳	60 mg	テオフィリン 塩酸プロカテロール 塩酸ブロムヘキシ ツブテロール オウヒエキス	失見当識	回復	インフルエンザA型と診断されリン酸オセルタミビルを投与開始(投与期間不明)。投与後、少しボーッとした感じあり。その日の夜より落ち着きなく動き回る。呼んでも返事なし。焦点も定まらない。検査を行ったところ、テオフィリンの血中濃度がやや高値をしめすもEEG、MRI、髄液検査に異常なし。投与開始8日後、症状回復し退院。
17	B-04007197	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン	幻覚 下肢骨折	不明	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル75mg及びアセトアミノフェンを処方。同日夕方、自宅2階より飛び降り両下肢骨折し、入院。主治医によると本剤を服用していない可能性もあるとのこと。
18	B-04008399	男	1■歳	75 mg	塩酸アマンタジン アモキシシリン セラペプターゼ 塩酸アンブロキシソール 耐性乳酸菌製剤(3) ソファルコン	異常行動	死亡	塩酸アマンタジン他を処方。翌日、インフルエンザA型と診断、塩酸アマンタジンを中止し、リン酸オセルタミビル75mgを処方(併用薬は継続)。昼食後内服し、約2時間後、突然素足で飛び出し、1m以上のコンクリート塀を跳び越え線路を横断し、ガードレールも越えトラックにはねられた。胸部外傷によるショック死。主治医によると、平成14年2月に本剤を5日間投与しているが異常なかったとのこと。
19	B-04008522	男	1■歳	75 mg	ジプロフィリン・メトキシフェナミン 配合剤 カルボシステイン アセトアミノフェン	意識レベルの低下	不明	インフルエンザA型と診断、昼食後リン酸オセルタミビル75mg他を服用し、就寝。3時間後、意識障害をおこし、マンション6階のベランダから飛び降り、外傷等により搬送。以前に発熱時に本人の無意識下に歩き回る程度のことは認められたとの由。
20	B-04008530	男	■歳	78 mg	塩酸ブロムヘキシジン ヒベンズ酸チペピジン 酒石酸アリメマジン	譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル78mg/日他を処方。2回服用後、夜から翌明け方にかけて40℃の高熱が続く。明け方、異常な発言があり、興奮して家の中を走り回り、譫妄状態に陥った。同日も本剤を服用。同日、譫妄回復。その後も2日間服用し、母親が投与中止。その後譫妄状態はおきなかった。

No	識別番号	性	年齢	1回用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
21	B-04009035	男	1■歳	150 mg	セフトレンピボキシル D-マンニトール アシクロビル 塩酸セフォチアム	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日及びセフトレンピボキシル等を処方され内服。同日夜、突然「苦しい」と顔つきが異常になり、自宅2階の窓から飛び降りた。救急車で来院時、意識清明。投与開始から6日目で本剤の投与終了。
22	B-04027261	女	9■歳	150 mg	セフトリアキソンナトリウム レボチロキシナトリウム 硝酸イソソルビド アロプリノール 酸化マグネシウム センノシド フロセミド メナテレノン エトドラク 塩酸タムスロシン パンテチン ポリスチレンスルホン酸カルシウム カルボシステイン 鎮咳配合剤(1) 桜皮エキス	譫妄	軽快	慢性腎不全、慢性心不全及び甲状腺機能低下症の既往あり。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与(投与開始翌日より入院投与)。投与開始後3日目、せん妄発現。4日目、意味不明の言動、興奮、職員への暴力あり。5日目、意味不明の言動及び興奮は消失するも、覚醒度不良のためリン酸オセルタミビルの服用中止。投与中止後6日目もつじつまの合わない発語が時々あり。7日目、せん妄軽快。
23	B-05000151	男	■歳	不明	セフトラムピボキシル 酪酸菌製剤 カルボシステイン	幻覚 落ち着きのなさ	回復	B型インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビルを投与開始。2回目投与の2時間後、異常な発言、歩き回る状態が見られ、パニック状態となる。有害事象発現3時間半後に救急受診したときには意識清明、回復、本剤投与中止。その後は有害事象発現せず。
24	B-05000677	男	■歳	84 mg		意識レベルの低下(意識障害) 異常行動(行動異常)	回復	前日來の発熱のため受診し、インフルエンザAと診断されリン酸オセルタミビルを投与。投与後2時間後に意味不明な発言、意識障害、行動異常が発現。近医を受診したが神経学的異常なく無処置で帰宅。その後再度服用すると、その後より急に起き上がり、歩き回り、幻覚も合併。救急外来を受診。異常運動を認め入院。輸液治療により7時間後に回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
25	B-05000689	女	■歳	39 mg	セフトレキシム アセトアミノフェン ヒベンズ酸チペジン カルボシステイン ジアゼパム	易興奮性(興奮状態)	軽快	4日前から発熱し、感冒薬を投与するも解熱せず受診。確定検査でインフルエンザAと診断。急性肺炎を危惧し、感染予防薬と共にリン酸オセルタミビルを投与。2回投与後に解熱するが、興奮状態で泣きわめく。翌朝本剤内服後歩行ふらつき状態。午後目覚めてから号泣、異常な興奮状態。ジアゼパム投与し、本剤の投与を中止した。2日後に軽快、睡眠良好。
26	B-05000692	男	7■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン	痙攣(痙攣) 意識レベルの低下(意識障害)	回復	38°Cの発熱と咳嗽により受診、インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビルを4日間投与。突然大きなびきと共に暴れ出す。意識障害と痙攣、全身間代性発作発現。7分後発作消失。意識は約1日半後清明となる。高CK血症、GOT、LDH上昇あり。
27	B-05000875	男	7■歳	150 mg	エスタゾラム トリアゾラム 酒石酸ゾルピデム プロムフレリル尿素 エチゾラム ジアゼパム ワルファリンカリウム 塩酸チクロピジン 塩酸メトホルミン マレイン酸トリメブチン シルニジピン	譫妄(せん妄)	回復	脳梗塞、胃癌、不眠症、糖尿病、高血圧の既往症。39°Cの発熱があり受診、インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビルを投与。当日解熱したが、夕食後本剤を服用、同時に常用薬の眠剤も服用。その後せん妄が発現。部屋を引っかき回したように荒らしている。翌朝にはせん妄は回復。解熱まで眠剤の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示したところ発現せず。
28	B-05001829	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤 カルボシステイン	譫妄(せん妄) 痙攣(痙攣)	後遺症	高熱あり、救急外来受診。A型インフルエンザと診断され、治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。その後、せん妄・痙攣発現。病院に救急搬送され、入院となる。その後急にベッドから立ち上がり、点滴ラインを引っ張った。翌日早朝、意識清明となり覚醒し、頭痛や麻痺・硬直等の症状緩和。翌日、解熱、異常行動なく全身状態改善のため退院となるが、後遺症あり。
29	B-05001832	男	1■歳	150 mg		精神障害	回復	インフルエンザ診断を行った結果、A型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビルを投与。16時頃本剤1回目服用。23時頃2回目服用。その3時間半過ぎに自宅の2階から飛び降りた。その際体温は38°C。翌日朝、受診。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
30	B-05002487	男	1歳	75 mg		意識レベルの低下	死亡	発熱、咽頭痛、関節痛にて受診。A型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤服用2時間後、9階自宅より転落。出血性ショックにより死亡。主治医によると転落したときの状況は誰も見ていないため意識障害、精神障害があったかは不明。
31	B-05017753	女	1歳	150 mg	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チペピジン 非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン アズレンスルホン酸ナトリウム・炭酸水素ナトリウム 塩化デカリニウム	譫妄(せん妄)	回復	咳、咽頭痛、関節痛、発熱あり解熱剤使用するも改善されず受診。インフルエンザ予防目的にて本剤投与。本剤投与2日後、朝より被害妄想、異常行動、せん妄発現。落ち着きがなく、家中うろろしていた。本剤投与中止3日後、精神的に落ち着き、平常の状態に戻る。
32	B-05018854	男	■歳	112 mg	臭化水素酸デキストロメトルファン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動(精神症状(異常行動))	回復	発熱有り受診し、A型インフルエンザと判断される。本剤投与後、仮眠しその1時間半後異常行動発現。突然起き上がり、玄関から飛び出していこうとした。1時間程で異常行動抑制され、次第に記憶回復。状態が過落ち着いたところで受診。頻脈、多呼吸、チアノーゼ等なく経過観察。翌日解熱し、その後も精神症状なし。
33	B-05020017	男	5歳	150 mg		精神症状(精神症状)	回復	インフルエンザ治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。本剤服用4日目、夜分服用し2時間後に精神症状発現。突然うつ状態になり、自殺したくなる。窓から飛び降りたくなる衝動にかられる。翌日、精神症状回復したが、本剤服用を自発的に中止。
34	B-05020834	女	■歳	不明 (4mg/kg/日)		幻覚(幻覚) 異常行動(異常行動)	回復	リン酸オセルタミビル4mg/kg/日処方。夕投与1時間後にドアノブを強く回し続ける異常行動、幻覚発生。救急車搬送入院。翌日回復。
35	B-05021030	男	1歳	75 mg	非ピリン系感冒剤(4) セラペプターゼ アセトアミノフェン イブプロフェン	易興奮性(興奮(異常行動))	回復	インフルエンザA診断後リン酸オセルタミビル投与開始。翌日興奮状態で自宅を飛び出していくが、しばらくして帰宅(本人は覚えている)。その後解熱、興奮(異常行動)回復。
36	B-05021111	男	1歳	150 mg	アセトアミノフェン 非ピリン系感冒剤(4) 塩酸エブラジノン アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン	妄想(妄想)	回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。その夜、家人を見て怖い怖いとベランダから逃げるような行動をとる。妄想発現。救急外来受診。翌日回復。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
37	B-05021185	女	■歳	84 mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	譫妄(せん妄状態)	回復	発熱(40°C)インフルエンザA診断確定後リン酸オセルタミビル投与開始。朝夕服用後入眠、2時間後覚醒し譫妄発現(部屋の中を走り回る。)(本人は覚えていない。)譫妄状態持続時間30分、一旦入眠するが2時間後に再発30分で回復。発現中は発熱なし。翌朝40°C発熱、入院し輸液により解熱。その3日後退院。
38	B-05021659	男	■歳	102 mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン ソリタT-1(点滴) 酢酸維持液(ブドウ糖加)(点滴)	異常行動	回復	確認診断にて、本剤、アズベリン、ムコダイン処方。本剤投与5時間後、異常行動(人形に話かける、部屋を歩き回る、意味なく笑い出す、九九を唱えるなど)発現。救急車にて来院し入院となる。入院時、意識ほぼ清明。翌日、解熱する。本剤投与し続けるも異常行動発現なし。処方全て服用する。
39	B-05021887	男	■歳	60 mg	セフテラムピボキシル ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン 耐性乳酸菌製剤	激越 幻覚	回復	小児科受診時、トミロン、アズベリン、ペリアクチン、ムコダイン、エンテロノン-R処方。夕刻、発熱(39.0°C)のため来院、脱水症状あり。発症時所見で発熱(38.3°C)、意識障害あり。本剤服用後、幻覚、興奮状態発現(異常な発言あり、暴れ出す)。救急車にて来院、すぐにおとなしくなり、けいれんも発現なし。神経学的異常なし。その後、幻覚、興奮状態発現なしのまま本剤投与終了。
40	B-05022154	男	1■歳	75 mg	ジクロフェナクナトリウム 臭化水素酸デキストロメトर्फアン 塩化リゾチーム アズレンスルホン酸ナトリウム・L- グルタミン クラリスロマイシン パファリンA	激越 落ち着きのなさ	回復	高熱(40.2°C)のため、受診。咽頭部の発赤、腫脹あり。本剤、ボルタレン他を処方。帰宅後、本剤、ボルタレン他を服用し、38°Cに解熱。その後、嘔吐し、睡眠する。本剤の服用は中止している。突然覚醒し、興奮状態(大声を出し、興奮状態でドアをこぶしで叩き壊し、膝蹴りなどでテレビを割るほど殴る:3~4分間)となり、両手甲部に外裂傷。3時間半後、体温39°Cになり、精神状態も落ち着く。翌日、体温37°C、不穏状態、興奮状態は回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
41	B-05022379	男	■歳	20 mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘパタジン	異常行動 低体温	回復	本剤2回投与後に低体温発現。 その後、異常行動発現(急に走り出して変な姿勢で止まる)し、入院となり経過観察となる。 入院中に異常行動なし。 翌日、低体温回復し、退院。異常行動も回復。
42	B-05022380	男	■歳	60 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキソール 塩酸シプロヘパタジン アセトアミノフェン	異常行動	軽快	発熱、咳嗽にて本剤処方。 本剤、解熱剤服用後、異常行動発現(奇声をあげる、意味不明な事を言う、数が数えられない、自分の年齢がわからない)し、入院となる。 入院時、点滴のみで観察。異常言動なし。 翌日、自分で点滴抜去、病棟内を一人でうろつく。 脳波異常所見あり、MRI異常所見なし。 3日後、異常言動軽快退院
43	B-05022381	男	1■歳	75 mg	ドンペリドン シプロフェリン・ジヒドロコデイン配 合剤 アルジオキサ 塩酸エピナスチン レボフロキサシン 維持液(3) メトクロプラミド	錯乱状態 落ち着きのなさ	回復	発熱(38°C)、咳、鼻症状にて本剤処方。服用後、錯乱、不 穏発現(異常な発言とともに、窓に向かって走り出す(マン ションの9階))。 ガラスは、鍵をかけており事故にはならなかったが、両親でお さえなければならぬほどの力で暴れた。 服用中止し、錯乱、不穏回復。
44	B-05022780	男	■歳	46.5 mg	トラニキサム酸 メキタジン	異常行動 激越	回復	髄膜炎の既往歴あり。発熱のため、確定診断後本剤処方。 体温39.6°C、2回目服用後、就寝するが、激越発現(急に 大声でわめきながらおきる)。その後翌日正午まで、異常 行動(異常な発言とともにベットや机、椅子の上に乗リピョ ンピョン跳び上がる。家中を歩き回る。)継続する。 起床するが、覚えていなく、ボーっとしている。本剤の服用 中止する。その後2日間は16~18時間の睡眠をする
45	B-05023219	男	2■歳	150 mg	不明	躁病	軽快	躁うつ病の家族歴あり。 発熱(39.4°C)、咳、鼻症状にて確定診断後本剤処方。夕刻 39.7°C内服開始。 翌朝36°C台となるが、夜寝ようとしてもソワソワして眠れな かった(躁状態)。本剤の服用が終了しても、躁状態継続 し、歩き回り、入院となる。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
46	B-05023443	男	■歳	46.5 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸プロモヘキシ ン 塩酸シプロヘプタジ ン	精神症状	回復	発熱(39.5℃)、咳、鼻症状にてアズペリン、ピソルボン、ペリアクチン、本剤を処方。 本剤服用後、精神神経症状(二段ベットの上段で手を広げて立ち上がる、ベットから降りてベランダへ走って行き手すりにつかまって飛ぶ動作等)、尿失禁発現。 翌日、投与中止し、精神神経症状、尿失禁回復
47	B-05023468	男	1■歳	105 mg		異常行動	軽快	発熱(38.7℃)、頭痛、咳にて本剤処方。本剤投与後、異常行動発現(異常な発言とともに布団を持ち上げた後、急に外に向かって走って出ていこうとした)し、入院。 入院後は異常言動出現なし。 翌日、解熱し、本剤投与中止。異常行動回復。
48	B-05023592	男	■歳	100 mg	アセトアミノフェン	譫妄 失見当識	回復	頭痛、咳、鼻症状があり、インフルエンザ陰性であったが、本剤処方。 3回服用後、就寝中に突然起き上がり、せん妄、見当識障害発現(異常な発言をしつつ徘徊、急に笑ったり、物を数える)。 その後入院し、輸液経過観察。せん妄以外は意識清明で発熱、感冒症状は呈していた。 翌日、就寝中に見当識障害(意味不明なことを言い笑う)を起こすが、その後せん妄、見当識障害回復
49	B-05023595	男	1■歳	60 mg	アセトアミノフェン ドンペリドン	異常行動 幻覚	回復	発熱、関節痛、悪寒、咳、咽頭発赤にて、確定診断後本剤、カロナール、ナウゼリン処方。 本剤投与後、幻覚症状(怖がって逃げる)、異常行動(異常な発言をする、「怖い、怖い」と泣く)発現。 1時間後、改善
50	B-05023597	男	■歳	60 mg		異常行動	回復	咳嗽、咽頭痛、眼痛、発熱(38.6℃)出現し、その後体温40℃となり、異常な発言をする。頭痛、腹痛も出現。 翌朝、姉に処方されていた本剤を服用(発熱継続)。 夕刻、再度服用その後、異常行動発現(奇声を発し怖い目をして呼び出し、勢いよく外へ飛び出した)し、救急外来を受診。 受診時意識清明。入院の上点滴のみで経過観察を行うが特にかわりなく2日後退院。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
51	B-05023672	男	1■歳	60 mg	臭化水素酸デキストロメトर्फアン メキタジン ラクトミン	異常行動	回復	発熱(39°C)、咳、鼻症状、消化器症状にて確定診断後本剤内服し就寝。 その後、異常行動発現(トイレに行こうとするが、様子がおかしく、その後突然外出し、団地4階より階段を下りて下にある自転車で走り出す。奇声を上げる)。 15分後帰宅するが、意識がぼーっとしており、発語もはっきりせず、朝まで経過 翌朝、起床時には回復。その後夜間診療まで、異常行動なく、受診時も、意識清明、問題行動なく、解熱、インフルエンザ症状軽減。
52	B-05023789	女	■歳	33 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン 塩酸セフカペンピボキシル アセトアミノフェン	幻覚 異常行動	回復 回復	高熱のためリン酸オセルタミビル並びにヒベンズ酸チペピジン、塩酸シプロヘプタジン及びカルボシステインを服用数時間後、意味不明な言葉を話して部屋から走って出てくる。異常行動としてはいかいも見られた。次の日に再度リン酸オセルタミビル並びにヒベンズ酸チペピジン、塩酸シプロヘプタジン及びカルボシステインを服用するも、直後に嘔吐する。リン酸オセルタミビルの服用を中止し、6日後に幻覚症状やはいかから回復する。
53	B-05023790	男	1■歳	66 mg		異常行動 意識レベルの低下 外傷性骨折	回復 回復 不回復	A型インフルエンザの診断後、リン酸オセルタミビルを服用した後、自宅マンションの2階より転落。意識障害や異常行動が発現していた。4~5日目も夜間にうわごとがあった。13日目には意識障害と異常行動が回復していた。
54	B-05023978	男	■歳	60 mg	麻黄湯	異常行動	回復	インフルエンザの診断を受けてリン酸オセルタミビルを服用。約6時間後に急にびっくりして怖がる様子で叫びだして外に走り出そうとしたり、台所に隠れようとする異常行動が発現し、緊急外来にて経過観察。その後、異常行動は回復。
55	B-05024102	男	1■歳	75 mg	カルボシステイン 塩酸ホモクロルシクリジン 臭化水素酸デキストロメトर्फアン アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.2°C)が見られたため、リン酸オセルタミビルが処方された。リン酸オセルタミビルを夕方服用後、翌日の0時40分頃に異常行動が発現し、団地2Fのおどり場より転落した。脳挫傷、頭蓋骨折、両大腿骨骨折。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
56	B-05024268		7■歳	150 mg		異常行動 大腿骨骨折	未回復 未回復	A型インフルエンザで発熱(39.5°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの投与開始。投与開始当日に異常行動が発現した。投与開始から3日目にインフルエンザが軽快し、リン酸オセルタミビルの投与が終了した。投与終了後から2日目に2階より飛び降りて大腿骨を骨折した。
57	B-05024270	女	1■歳	114 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸アンブロキシソール クラリスロマイシン	情動障害 退行行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.2°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの投与開始。初回投与開始から2~3日目に情緒障害と異常行動が発現。情緒障害と異常行動が約10日に回復した。 アセトアミノフェンはリン酸オセルタミビル投与開始1~2日間に併用されており、臭化水素酸デキストロメトルファン及び塩酸アンブロキシソールはリン酸オセルタミビル投与開始から4日間投与された。
58	B-05024386	男	5■歳	150 mg	アミノフィリン リン酸ベタメタゾンナトリウム フロモキシセフナトリウム 維持液(3) プロピオン酸フルチカゾン テオフィリン 塩酸フェキソフェナジン ファミデジン	意識レベルの低下 呼吸困難	回復 回復	A型インフルエンザの確定診断を受け、リン酸オセルタミビルを投与開始初日の夕方と就寝前に服用。投与開始から2日目の午前5時に呼吸苦が発現し、暴れ出した。また、意識障害が発現した。呼吸苦は発現当日に回復し、意識障害は発現翌日に回復した。
59	B-05024606	男	1■歳	108 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.3°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始。投与開始当日の夜間に異常行動(「学校へ行く」と言い、ランドセルを背負って外出しようとする。)発現。また、投与開始から2日目の夜間にも異常行動(悪夢を見て怖いと言い、外出しようとする。)発現。投与開始2日まででリン酸オセルタミビルの服用を中止し、投与開始5日目に異常行動が回復した。
60	B-05024748	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.5°C)が見られ、リン酸オセルタミビルを夕方に服用した。服用開始した日の夜に2階より飛び降りる異常行動が発現。飛び降りから約2時間半後に病院へ搬送された時には異常行動は回復していた。右踵骨骨折、左第5指中足骨骨折、両足部外傷性皮膚欠損。飛び降りから約4時間後に頭部CTを実施し、明らかな浮腫や脳症を疑う所見を認めなかった。

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
61	B-05024835	男	■歳	50 mg	アセトアミノフェン	譫妄	回復	A型インフルエンザで発熱(39.2°C)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約2時間後にせん妄(突然起きあがる。走り出しそうな感じがあり、押さえつけるなど)を発現し、投与中止後もせん妄が数回見られた。せん妄は事象発現から6日目に回復した。
62	B-05024837	男	■歳	99 mg		幻覚	回復	A型インフルエンザで発熱(38.8°C)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約1時間後に幻覚等(玄関から外出するなど)が発現し、その後幻覚の症状は回復した。投与開始から約10時間半後にリン酸オセルタミビルを服用したところ、その約1時間後に幻覚が発現し、幻覚は約5分程度で消失した。
63	B-05024838	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱(38.5°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の2回目服用から約30分後に、就寝中より突然起き出して父親に抱きついたり、母妹に意味不明な言語を発する等の異常行動が発現し、約30分間持続した。その後、異常行動から回復した。
64	B-05024865	男	8■歳	150 mg	アスピリン 酒石酸イフェンプロジル 塩酸タムスロシン ヒトインスリン(遺伝子組換え) 非ピリン系感冒剤(4) 臭化水素酸デキストロメトルファン スパルフロキサシン ジクロフェナクナトリウム	譫妄	回復	A型インフルエンザで発熱(38.5°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から2日目にインフルエンザが軽快・回復した。投与開始から3日後にせん妄(窓を開けて外へ出るなど)が発現し、せん妄発現から3日目の朝にせん妄から回復した。
65	B-05024963	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン d-マレイン酸クロルフェニラミン	意識レベルの低下 異常行動 悪心(嘔気)	回復 回復	A型インフルエンザ発症のため夕方リン酸オセルタミビル服用開始(39°C)。服用後意識障害(少し変なことを言う)発現するもすぐに治まった。嘔気もあり。翌朝本剤服用後、約4時間後に異常行動(服を脱いで家の外へ飛び出す)発現し行動障害(いつもできることができない等)が少し続いた。患者が落ち着いた後、総合病院を受診し血液検査と脳MRI撮影実施。3日後、落ち着いたおり、12日後、検査結果に異常なし、精神神経症状もなし。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
66	B-05024964	女	■歳	30 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン 塩酸アンブロキソール ツロブテロール	譫妄	回復	A型インフルエンザに対し発症の翌日よりリン酸オセルタミビル服用開始(38°C)。服用2時間後より譫妄状態(突然起きあがる、目つきがおかしい、異常な発言、毛布をくわえる等)が8時間ほど続き、朝4時頃就眠。その後6時に覚醒、意識は清明で発熱(39°C台)はあったが譫妄はその後出現せず。インフルエンザ発症12日後インフルエンザ軽快。
67	B-05025213	女	1■歳	150 mg	クラリスロマイシン 塩酸チアラミド 非ピリン系感冒剤 リン酸ベンプロペリン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱が見られた3日後よりA型インフルエンザのためリン酸オセルタミビル服用開始(39.5°C)。初回服用1.5時間後にトイレでいきんだ後30秒ほど白目をむいた感じになった。2回目服用2.5時間後に異常行動(突然起きあがり意味不明な発言)発現のため救急受診。受診時の受け答えは正常。翌日インフルエンザ軽快し精神状態等も正常。
68	B-05025437	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン 塩酸アンブロキソール	異常行動	回復	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(39.1°C)。2回目服用2.5時間後に突然寝ていたが起きだし、外に飛び出し15分後に戻る。その間記憶なし。翌日(36.7°C)外来受診し本剤中止、異常行動回復。
69	B-05025476	男	1■歳	150 mg		痙攣 意識レベルの低下 異常行動	未回復 未回復 未回復	インフルエンザウイルスは陰性だったが、家族に陽性の患者がいたため本剤投与開始。異常行動、意識障害、痙攣発現。(担当医の協力が得られず詳細は不明)
70	B-05025582	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトर्फアン シャゼンソウエキス	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(39°C)。2回目服用後、異常行動(部屋の中をぐるぐる回る、2階から飛び降りようとする等)発現。父親が取り押さえ約40分後異常行動(わめいたり暴れたり)軽快し眠った(39°C以上)。翌朝解熱(36.7°C)し意識は正常で異常はなかった。母親の話では1年ほど前にも発熱した際に今回のようにひどくはなかったがうなされたことがあった。
71	B-05025583	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトर्फアン シャゼンソウエキス	異常行動	軽快	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(38.5°C)。午前中1回目服用後寝ていたが突然異常行動(階段を駆け下り、学校へ行くといいカバンを背負って外へ飛び出そうとする)発現し、しばらくの後症状軽快。その後も本剤を処方通り服用するが異常行動発現せず。

No	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
72	B-05025584	女	■歳	54 mg		異常行動	回復	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(39.1°C)。昼前1回服用約4時間後に異常行動(部屋の中を急にウロウロ歩き回る)発現。その後、安静にて就眠。同日再診し溶連菌+を確認、本剤中止、水分補給、安静を指示。翌午前異常行動回復、インフルエンザも回復。
73	B-05025585	男	■歳	120 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン フマル酸クレマスチン	異常行動	軽快	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始。1回目の服用後異常行動(見えるはずのないものが見えるという)発現。2回目の服用後異常行動(訳のわからない言動、部屋を駆け回る等)発現。その夜に来院し入院、本剤服用を中止。翌日異常行動軽快。その後、異常行動は発現せず。
74	B-05025587	女	9■歳	150 mg	クラリスロマイシン レバミピド オキサトミド	幻覚 異常行動	回復 回復	発熱(38.6°C)があり、インフルエンザ患者と2日間の接触があったため、リン酸オセルタミビル及び併用薬処方となる(確定診断は行っていない)。投与1日後に平熱となる。本剤5回服用後の夜中、幻覚症状(大声で幻覚症状を訴える)発現し本剤服用中止。本剤中止3日後に幻覚、異常行動(外へ出て座っている等)は回復。
75	B-05025720	男	■歳	不明	解熱剤(不明)	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始。2回日本剤と解熱剤服用30分後に異常言動(にたにた笑う、両手で何かを掴もうとする)発現。救急車にて入院。夜間異常言動あり(ベッド柵を乗り越えようとする、意味不明な言葉を発する)。翌朝意識清明で、脳波、MRIに異常所見なし。入院3日目に異常言動軽快退院。
76	B-05025721	男	■歳	102 mg		異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始(39.5°C)。初回服用5時間後トイレに起きた時に異常行動(トイレに起き部屋で排尿、階段を昇ったり降りたり、突然笑ったり)発現し、約1時間続いた。その後本剤2回目服用するが異常行動は認められていない。翌朝解熱し本剤服用中止。いつもよりボーっとし寝てばかりいるため、夕方経過観察のため入院。点滴後元気が出てきてインフルエンザ軽快、異常行動軽快。翌日、全身状態良好にて退院。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
77	B-05025722	男	■歳	160.2 mg	セフジニル 塩酸シプロヘパタジン 解熱剤(不明)	異常行動	軽快	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(40°C)。併用薬と本剤初回服用1時間後異常行動発現(急に立ち上がりケタケタ笑う、トイレにこもり大きな音をたてる)後、一旦入眠。異常行動発現1時間後、話しかけに無反応、目線があわない等あり。夜中受診し入院となる(39.4°C)。入院時意識清明、異常言動なし。入院翌日以降異常言動なし。脳波、左後頭部に徐脈。MRI左側頭葉に高信号。入院5日後異常言動軽快退院。
78	B-05025723	男	1■歳	150 mg		健忘 激越 異常行動 錯乱状態	回復 回復 回復 回復	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始。夜間本剤服用後、家の中を大声で動き回り、家族が抱きかかえた。興奮、錯乱状態発現。2時間毎に興奮状態が出現。その後寝入って落ち着き興奮、錯乱状態、健忘症回復。翌日解熱し本剤中止。(約1ヶ月前インフルエンザが強く疑われたためアマタジン投与。その際は高熱(39.1°C)だったが、興奮状態等の訴えはなかった。)
79	B-05025724	男	5■歳	75 mg	アセトアミノフェン アミノ酸・糖・電解質(2-3)	精神症状 自殺既遂	不明 死亡	肺結核後遺症に伴う慢性呼吸不全に感冒を合併し入院。経過は良好であったが入院7日目に院内でA型インフルエンザに感染。18時頃、両下肢のしびれ感などの合併があり、将来の健康に関して全般的な不安を訴えていた。19時頃に本剤服用開始(体温39.2°Cありアセトアミノフェンを本剤とともに服用)。22時の体温は37.3°C。翌朝5時に生存を確認。6時30分病床不在確認、7時39分飛び降りて死亡しているのが発見された。自室のノートに遺書有り。
80	B-05026722	女	■歳	54 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	精神症状	回復	A型インフルエンザで発熱(39.8°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始。投与開始日の夜に40°Cの発熱とともに奇声をあげて起き上がり、室内を歩き回る中枢神経症状が発現した。この後リン酸オセルタミビルの服用を中止した。投与開始から2日目の昼も同様の症状がみられた(体温37.5°C前後)。投与開始から3日目は中枢神経症状がみられていない(体温39.5°C)。その後、投与開始から5日目に中枢神経症状が回復した。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
81	B-06000186	男	■歳	不明	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型発症、本剤5日間内服する。内服中、幻聴が続いている。その約2ヶ月後、発熱を認め、B型インフルエンザの疑いがあることから、リン酸オセルタミビルと抗生物質の服用を開始。39°C代の発熱が見られたことから、アセトアミノフェン坐剤を投与。リン酸オセルタミビルの投与開始日の夜に異常行動(突然起きて異常な発言をし、母親の足跡の間に自分の指を入れたり、制止がきかない程暴れる)が発現し、翌日の朝にかけて異常行動(入眠中突然起きて異常な発言)が見られた。その後、異常行動は見られず、回復した。
82	B-06001533	男	■歳	60 mg	塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン	意識レベルの低下	回復	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3日目に午前中分のリン酸オセルタミビルを服用した約1時間後に意識障害(奇声を発死、頭を壁へぶつけるなど)が発現し、約5時間持続した。その後、意識障害は回復し、再燃しなかった。
83	B-06001534	男	7■歳	150 mg	塩酸ブラゾシン メチルドパ ロラタジン ヒベンズ酸チペピジン 非ピリン系感冒剤(4) 塩酸セトラキサート 鎮咳配合剤(1) セネガ	平衡障害 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(38.0°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から約2時間後に平衡機能障害が発現し、約5時間後に回復した。初回服用から約5時間後にリン酸オセルタミビルを服用し、約2時間後に異常行動(田植えをしている動作)が発現し、約24時間後に回復した。
84	B-06005344	女	1■歳	150 mg	酒石酸ゾルピデム エチゾラム 非ピリン系感冒剤(4)	自傷行動	回復	インフルエンザ(診断確定未実施)治療のためにリン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始から5日目に自傷行為と記憶消失が発現し、約5時間後に回復した。服用開始から6日目にインフルエンザが軽快している。
85	B-06006859	女	■歳	35 mg	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン ツロブテロール	せん妄 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.5°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。初回服用開始後、せん妄及び異常行動が発現し、回復した。服用開始から2日目及び3日目もリン酸オセルタミビル服用後にせん妄及び異常行動(落ち着きなく動き回る等)が発現し、回復した。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
86	B-06010806	男	1歳	114 mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	B型インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から1日目の夜にせん妄が発現し、翌日の朝に回復した。服用開始から2日目の夜にせん妄(起き出すなど)が発現し、翌日の朝に回復した。リン酸オセルタミビルは服用開始から6日目の朝まで服用したが、これ以外の症状は見られなかった。
87	B-06012472	女	1歳	75 mg	アセトアミノフェン クラリスロマイシン カルボシステイン	意識レベルの低下	回復	B型インフルエンザで発熱(38.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3時間弱で意識障害(窓の方へ駆け出し、叫ぶ)が発現し、入院することになった。リン酸オセルタミビルの服用は中止し、塩酸プロカテロールの服用を開始したが、その日の夜に意識障害が見られた。リン酸オセルタミビルの投与開始から6日目にインフルエンザ症状が軽快し、意識障害も回復した。
88	B-06016893	男	8歳	150 mg	テオフィリン コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム アミノフィリン 維持液(17)	譫妄	回復	慢性腎不全、洞不全症候群、脳梗塞の治療継続中。ペースメーカー留置。発熱、呼吸苦、低酸素血症、炎症反応によりインフルエンザ確定診断を実施。入院後、点滴(コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム、アミノフィリン)及びリン酸オセルタミビルを投与開始。2日目、落ち着きがなくやや興奮気味、せん妄発現、点滴投与中止。3日目夕方よりリン酸オセルタミビル投与中止後、ハロペリドール投与(3日間)。4日目せん妄回復。以降症状なし。
89	B-06017551	女	7歳	150 mg	アミノフィリン アジスロマイシン水和物 モンテルカストナトリウム プロチゾラム 塩酸クレンブテロール ファモチジン チアマゾール ブドステイン プレドニゾン アセトアミノフェン	譫妄	回復	喘息、甲状腺腫の既往歴あり。気管支喘息のため入院後、アミノフィリン、プレドニゾン投与後、アジスロマイシン水和物を処方。発熱があり、インフルエンザAによりリン酸オセルタミビルの投与開始。4日後夜、失禁、夜間せん妄発現。翌日朝以降症状なし。5日後まで投与継続、インフルエンザ回復。
90	B-06022861	男	2歳	150 mg	なし	異常行動 過換気	軽快	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与。当日、異常行動、過換気発現。投与中止により翌日軽快。

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
91	B-06022963	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動 幻覚	回復	B型インフルエンザの確定診断により、リン酸オセルタミビルを午前中帰宅後と夕食後に内服後、夜間睡眠中に、自分の身に家人より危害を加えられると思ひ込み、家を飛び出し知人宅を廻る。7時間後、幻覚、異常行動回復。
92	B-06024212	男	1■歳	150 mg	なし	錯乱状態	回復	リン酸オセルタミビル投与開始後、2日目に錯乱発現、投与中止。翌日、錯乱回復。
93	B-06024227	男	1■歳	150 mg	レバミピド 塩酸セチリジン アセトアミノフェン 塩酸ホミノベン	嗜眠 異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mgx2回/日を投与。4日目にインフルエンザ軽快・回復。6日目の10回目投与後、学校で授業中突然歌を歌う。目線が定まらず早退。帰宅後も嗜眠傾向。採血、検尿、脳CT異常なし。脳MRI、脳波は興奮のため最後まで撮れないが、撮れた分は異常なし。15日目では異常行動、嗜眠傾向は未回復。21日目以降の時点で父母から見て正常に戻ったと評価している。
94	B-06024378	男	1■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) テリスロマイシン 塩酸アンブロキシロール ヒベンズ酸チペピジン テプレノン	異常行動 自殺企図	軽快	B型インフルエンザと診断。体温39°C。リン酸オセルタミビル2回目服用後、3時間後に悪夢を見て暴れた。その6時間後、再度暴れ、包丁の刃を自分に向けていた。2時間後、自殺未遂及び異常行動は軽快。
95	B-06024435	女	2■歳	150 mg	なし	多幸気分 不眠症 口渇	不明	リン酸オセルタミビル2日間投与。5日後、高揚感、口渇、不眠が発現。その3日後、ベッドで暴れ、口渇を訴えている。
96	B-06024534	男	1■歳	150 mg	臭化水素酸デキストロメトルファン α-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快	インフルエンザA型と診断後、リン酸オセルタミビルを投与。2日目午前に服用後、夕方、母親が目を離した間に、2Fベランダから飛び降りた。
97	B-06024795	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動 転倒	死亡	インフルエンザA型にて本剤を服用するが、異常行動発現なし。約1年後、発熱(38.9°C)、咽頭痛、インフルエンザB型陽性で本剤を処方。朝、夕服用し、その夜に自宅マンションから飛び降り死亡。

No	識別番号	性	年齢	1日 用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
98	B-06024909		1■歳台	不明	mg		自殺企図	回復 本剤投与開始後、自殺企図発現。 外を走り回っているところ見つけられ、家に連れ戻されたが、2階へ駆け上がり自分の部屋から飛び降りる。
99	B-06024911	男	■歳	150	mg	アセトアミノフェン	激越	軽快 本剤4回投与後、あばれる、走り回る、奇声を発するなどの興奮状態発現。 翌日、症状軽快
100	B-06024935	男	1■歳	60	mg		異常行動	回復 本剤投与開始の翌朝突然起きて異常行動(徘徊、大声で叫ぶ)発現。 押さえ込んでしばらくした後、意識が戻る。 本剤の服用は1回で、その後中止。正常に。
101	B-06025002	男	5■歳	150	mg		異常行動	未回復 本剤投与開始後、異常行動発現。 本剤投与中止、異常行動は5日後時点で未回復
102	B-06025006	男	1■歳	不明	mg		異常行動	回復 本剤投与後、異常行動(階段から飛び降りようとし、クローゼットの中に座り込む等)が10分程出現。 救急車で来院、来院時には軽快。
103	B-06025041	男	1■歳	150	mg		傾眠 失見当識 異常行動	軽快 投与開始3日後、異常行動、意識障害(傾眠)、意識障害(失見当識)発現。経過観察の為、入院。 投与終了4日後、症状改善し、退院。 退院4日後まで、見当識障害あり。 翌日、異常行動、意識障害(傾眠)、意識障害(失見当識)軽快。
104	B-06025100	男	1■歳	30	mg		異常行動	回復 発熱(39℃)、頭痛があり、インフルエンザ陽性のため、本剤投与。 1回目内服後、起きあがろうとしたり、意味不明な話をしてくる。 その後、本剤処方せず、リレンザ服用。 現在は回復し、通学。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
105	B-06025101	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン	異常行動	不明	本剤服薬2時間後に幻覚をみて、異常行動(裸足で外に飛び出した。)出現。帰宅後、自ら電話し、救急車で他院に搬送。点滴により落ち着き帰宅。夜になると怯えてしまう。屋間は問題なし。 その後も就寝後1時間くらいでおきだして、錯乱状態となる。5日後、解熱。7日後、通学し始める。 就寝後の錯乱状態が続くため、他院受診。「夜驚症」と診断される。
106	B-06025118	男	6■歳	150 mg		異常行動 自殺既遂	不明 死亡	既往歴にうつ病があり。 本剤投与開始後、異常行動、精神・神経症状発現。 本剤投与中止後、透析5回実施。 投与中止10日後、自殺。 ※自殺目的で放火したものの、死んでいないことが判明
107	B-06025119	男	8■歳	150 mg		異常行動	回復	服用開始3日後、異常行動(除草剤を飲む)発現。 同日入院、回復。
108	B-06025190	男	1■歳	75 mg		幻聴 異常行動	回復	高熱(39.4℃)で来院。インフルエンザA型に対して夜より本剤服用。 翌日の午後、異常行動、幻聴発言し、トイレの窓より飛び出し自宅のまわりを裸足で走り、川の中まで入った)。 夜、服用中止。家族がつきそう。 2日目、受診し、脳症を疑ったが、解熱しており、意識状態正常と診断。 幻覚、異常行動、幻聴回復
109	B-06025191	男	1■歳	150 mg		譫妄	回復	過去に本剤内服あるが、その時副作用なし。 高熱(39℃)が出たため、姉に処方されていた本剤を服用し、受診。 その後、せん妄状態発現(約30分間持続)。 あばれだすようになったが、自室に入った。せん妄状態で発熱(39℃)が続いており、落ち着いた頃に本剤を追加服用。 庭に倒れていたところを家族が発見、中2階から転落した様子だが、本人記憶なし。せん妄状態回復。 翌日、来院、高熱(38.9℃)継続。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
110	B-06025192	男	3■歳	75 mg	葛根湯 ロキソプロフェンナトリウム	異常行動	回復	本剤服薬4時間後に錯乱状態となり、自宅2階から飛び降り、足を骨折。 骨折のため、他院を受診、その際意識もはっきりしており、体温も36℃台であった。 4日後、整形外科で手術。 入院中、意識レベル正常、異常行動回復。
111	B-06025200	女	■歳	不明	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン フマル酸クレマスチン	異常行動	回復	インフルエンザのため、本剤投与開始。 朝は嘔吐してしまったため、その日の夜に服用、その夜から異常行動(わけのわからない行動が続き、一晩中眠れなかった)が続く。 2日後、異常行動回復
112	B-06025315	男	1■歳	75 mg	テオフィリン アセトアミノフェン プロピオン酸フルチカゾン 塩酸プロカテロール	異常行動	回復	発熱を伴う風邪症状で本剤、カロナールを処方。 その夜、本剤服用後就寝し、夜中に異常言動発現叫びながらベランダに向かって歩き出す。 再度受診し、服用を中止。 その後、異常行動なし。
113	B-06025316	男	2■歳	75 mg		自殺企図	回復	本剤服用後、異常行動(自殺企図:マンションの渡り廊下に登ろうとする。何かにおびえた様子で「死んでから謝ろうと思った」と発言)発現。 落ち着いてから話をすると自分のとった行動に記憶があり、当時不安になるような心当たりはまったくないとの由。
114	B-06025337	女	■歳	不明		異常行動	回復	夕刻、本剤服用。 5時間後、異常行動(急に起きあがり、トイレへ駆け込んだ。その後、便座や自分の太腿を必要以上にさすっていた)発現。 心配になった両親が救急車を呼び、入院。 翌日、解熱し退院。
115	B-06025418	女	■歳	35 mg		激越 異常行動	回復	本剤投与開始後、異常行動、興奮状態発現。 翌日、異常行動、興奮状態回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
116	B-06025419	女	4■歳	75 mg		自傷行動	不明	本剤1capを服用後、自己判断で中止。 4日後、熱が下がらないため、再度1cap服用。 5~6時間後、自室にてタオルを首に巻き付けた状態で意識を失っているところを家族に発見され、入院する。 入院し、意識は回復。
117	B-06025421	男	■歳	不明		異常行動	回復	2年前にも本剤服用しているが、問題なし。 本剤服用2時後、異常行動発現(叫び暴れだした)。 入院後、水分補給の目的で点滴実施、リレンザ処方したところ、解熱。 翌日、回復退院。
118	B-06025425	男	1■歳	75 mg	クラリスロマイシン 塩化リゾチーム 塩酸アンプロキシール アセトアミノフェン	意識レベルの低下	回復	発熱(37. 2°C)、頭痛、咳、鼻症状、関節痛、倦怠感があり、確定診断後、夕方本剤を服用。 夜間帯、ボーっとした感じでベランダに出て行き失踪。 本人が素足のまま帰宅する。本人は、この間の記憶が全くない。
119	B-06025518	女	■歳	不明		異常行動 幻覚	回復	インフルエンザ症状により外来受診。 診断キットの結果は陰性であったが、症状より判断して本剤を処方。 昼食後、服用し、数時間後異常行動発現(幻覚、父親を認識できない、部屋を飛びだそうとする)。 異常行動は、数時間のうちにおさまる。 翌日、解熱し、診断キットで再検査したが陰性であった。
120	B-06025576	女	1■歳	150 mg		異常行動	回復	本剤処方の昼食時に服用。 その夜、異常行動発現(突然泣き始め、素足で土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ)。 約10分で落ち着き、両親がおさえる。体温(37. 5°C) 翌朝から、本剤服用再開、その後異常行動なし。本剤投2日後、外来受診し、異常行動回復となる。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
121	B-06025685	男	1■歳	75 mg		異常行動	回復	発熱(38.5°C)鼻症状であったため、確定診断後本剤を投与。 その夜、異常行動(トイレに行こうと立ち上がったが倒れた。トイレに付き添っていくもトイレの中、壁に向かって排尿し、ふらふら歩き出し、台所の床に倒れ込む)発現。 母親、心配になり、救急依頼。体温(38.2°C)。 入院後、補液管理となり(体温:38.8°C)、その日の夕刻、異常行動回復。
122	B-06024434	女	1■歳	75 mg		転倒	死亡	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビルを服用。服用から2時間後自宅マンションから転落し、心肺停止状態。病院に搬送後に死亡確認。
123	B02-12377	男	1■歳	150 mg		低体温	回復	インフルエンザ確定診断後、本剤投与。 本剤服用後、幻視、低体温、暴れた為、両親がおさえた。体温:34~35°C。 同日、再度服用したところ、幻視、低体温、暴れるなどの症状出現し、再び両親におさえられて治まった。その後、本剤は中止とした。 翌日、低体温は継続。 投与中止3日後、幻視、低体温回復
124	B-06004486	男	4■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤 アスピリン ヒベンズ酸チペピジン リン酸ジメモルファン プラプロフェン 塩酸セトラキサート	死亡	死亡	期外収縮及び心房細動の患者。発熱、咳、鼻症状、関節痛及び倦怠感があり、インフルエンザの疑いで、リン酸オセルタミビルを服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用3日目の夜、家人に気づかれないまま車で外出。自宅より30km離れた海の岸壁で車が発見され、人が海に落ちた形跡あり。約2ヶ月後、海中より死亡した本人が発見された。
125	B-06007798	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	死亡	死亡	発熱があったため、家族に処方されていたリン酸オセルタミビルを75 mg/日服用。その後、熱が下がらないことから、左記併用薬を服用。同日夕方、自宅のある高層住宅の駐車場で心肺停止状態で発見され、病院に搬送されたが死亡。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
126	B-05001178	男	9■歳	75 mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸チクロピジン センノシド ニフェジピン	胃腸出血	死亡	慢性腎不全、脳梗塞、便秘、及び高血圧の患者。血液透析を約10年前から施行。インフルエンザA型と診断され、入院。当日の夕方リン酸オセルタミビル75mgを服用(併用薬は左記のとおり)。入院4日目の夕方、不穏な行動あり(少し認知症の気があった)、その後嘔吐(潜血反応+)あり。その3日後の夜以降、下血が続き、深夜、呼吸状態が悪化し、血圧低下、心拍数低下となり、次の日の早朝、死亡を確認。
127	B-05000876	男性	■歳	60 mg	アセトアミノフェン	尿失禁	回復	約1ヶ月前、インフルエンザAの診断で、本剤51mg、5日間投与。異常なし。 発熱、嘔吐にて来院。流行状況よりインフルエンザと診断し本剤60mg投与開始。 3日目、発熱は継続し、意識もうろう状態で意味不明言葉を発し、泣き、尿失禁する。10分後に落ち着く。 4日目、朝から本剤の服用を中止していたが、夜、睡眠中に突然起きあがり、壁をガンガン叩く等の興奮状態。10～15分で再入眠。1時間ごとに4～5回繰り返した。 翌日回復。
128	B-05018850	女性	6■歳	150 mg	インフルエンザHAワクチン 塩酸パロキセチン フルニトラゼパム 酒石酸ゾルピデム 塩酸ラロキシフェン アセトアミノフェン	劇症肝炎	不明	2日前、インフルエンザワクチン接種。 発熱、咽頭痛より、インフルエンザを疑い本剤5日間投与。 投与終了1日後、急性肝炎疑いで入院。 投与終了5日後、ベットより飛び降りたり、大声で叫ぶ。血漿交換のため転院。

異常な行動が記録されている事例(インフルエンザウイルス感染の有無)

No.	識別番号	感染
1	B-00913386	不明
2	B-02901480	○
3	B-02901634	×
4	B-02902847	○
5	B-02913397	不明
6	B-02914446	×
7	B-03008735	○
8	B-03009902	○
9	B-03010203	○
10	B-03011945	×
11	B-03900831	○
12	B-03900982	○
13	B-03901038	○
14	B-03901089	○
15	B-03905859	×
16	B-03933860	○
17	B-04007197	○
18	B-04008399	○
19	B-04008522	○
20	B-04008530	○
21	B-04009035	○
22	B-04027261	○
23	B-05000151	○
24	B-05000677	○
25	B-05000689	○
26	B-05000692	○
27	B-05000875	○
28	B-05001829	○
29	B-05001832	○
30	B-05002487	○
31	B-05017753	×
32	B-05018854	○
33	B-05020017	不明
34	B-05020834	不明
35	B-05021030	○
36	B-05021111	○
37	B-05021185	○
38	B-05021659	○
39	B-05021887	○
40	B-05022154	○
41	B-05022379	○
42	B-05022380	○
43	B-05022381	○
44	B-05022780	○
45	B-05023219	○
46	B-05023443	○
47	B-05023468	○
48	B-05023592	×
49	B-05023595	○
50	B-05023597	○

No.	識別番号	感染
51	B-05023672	○
52	B-05023789	不明
53	B-05023790	○
54	B-05023978	不明
55	B-05024102	○
56	B-05024268	○
57	B-05024270	○
58	B-05024386	○
59	B-05024606	○
60	B-05024748	○
61	B-05024835	○
62	B-05024837	○
63	B-05024838	不明
64	B-05024865	○
65	B-05024963	○
66	B-05024964	○
67	B-05025213	○
68	B-05025437	○
69	B-05025476	×
70	B-05025582	○
71	B-05025583	○
72	B-05025584	○
73	B-05025585	○
74	B-05025587	不明
75	B-05025720	○
76	B-05025721	○
77	B-05025722	不明
78	B-05025723	○
79	B-05025724	○
80	B-05026722	○
81	B-06000186	不明
82	B-06001533	○
83	B-06001534	○
84	B-06005344	○
85	B-06006859	○
86	B-06010806	○
87	B-06012472	○
88	B-06016893	○
89	B-06017551	○
90	B-06022861	○
91	B-06022963	○
92	B-06024212	不明
93	B-06024227	○
94	B-06024378	○
95	B-06024435	○
96	B-06024534	○
97	B-06024795	○
98	B-06024909	不明
99	B-06024911	不明
100	B-06024935	○

No.	識別番号	感染
101	B-06025002	不明
102	B-06025006	不明
103	B-06025041	○
104	B-06025100	不明
105	B-06025101	○
106	B-06025118	不明
107	B-06025119	不明
108	B-06025190	○
109	B-06025191	○
110	B-06025192	○
111	B-06025200	不明
112	B-06025315	○
113	B-06025316	不明
114	B-06025337	不明
115	B-06025418	○
116	B-06025419	不明
117	B-06025421	○
118	B-06025425	○
119	B-06025518	×
120	B-06025576	○
121	B-06025685	○
122	B-06024434	○
123	B02-12377	不明
124	B-06004486	不明
125	B-06007798	不明
126	B-05001178	○
127	B-05000876	×
128	B-05018850	不明

○: インフルエンザウイルスの感染が明確なもの 93例

×: インフルエンザウイルスに感染していないもの 9例

不明: 検査が実施されていないもの等 26例

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-01900445	女	2歳	150 mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸セフカベンピボキシル デブレン リン酸ジメモルファン	味覚異常	回復	咽頭炎疑いにて、抗炎症剤・胃薬・抗菌剤処方。翌日インフルエンザ治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。本剤投与終了後の翌日に味覚障害発現。障害程度は、味覚減退/味覚鈍麻(味覚がよわい)。貧血・舌炎は無し。その約1週間目頃より、味覚障害に対する治療無しで回復。
2	B-01900663	女性	7歳	150 mg	グリベンクラミド ボグリボース アズレンスルホン酸ナトリウム/ L-グルタミン 酒石酸イフェンプロジル 硫酸鉄 アモキシシリン/クラブラン酸カリウム	低血糖昏睡	回復	糖尿病の既往有り。発熱・全身倦怠感有り病院受診し、迅速診断にてA型インフルエンザと診断。翌日、朝より少し食欲無く昼食の量は少なめ。その日17時頃就寝呼びかけに対する返答無し、その後見に行ったところ昏睡のため救急搬送となる。病院到着時、血糖値38mg/dLであり、ブドウ糖静注すると完全に回復となる。担当医によると、低血糖となったのは、今回初めて。
3	B-01900940	女	2歳	150 mg	不明	味覚異常	回復	B型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤投与3日目に味覚障害、嘔気、食欲不振発現し、本剤服用後3~4日間続き、対症療法の治療を行う。本症状発現3日後、味覚障害等の症状回復。
4	B-01902841	男性	不明	不明	ジクロフェナクナトリウム 塩酸ホミノベン	振戦	不明	インフルエンザに対してリン酸オセルタミビル投与を開始。投与後1~2日後、冷感、ふるえ、高熱のため他院に移送。転帰不明

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
5	B-01902845	男性	5歳	150 mg	フロロペネムナトリウム 塩酸アンブロキシール アルジオキサ 耐性乳酸菌	糖尿病性昏睡高浸透圧性昏睡	回復	交通事故によるL1、2脊髄損傷(下肢不全麻痺)、肥満。発熱(37.1℃)、悪感、咽頭痛で、急性喉咽頭炎の診断でフロロム投与開始。翌日、口渇、多尿あり。2日後、発熱(39℃)、全身・怠感出現、インフルエンザ疑いにて本剤投与開始。その4日後、本剤投与中止。投与中止1日後、多飲、多尿、全身・怠感持続。午後より悪心、嘔吐発現。投与中止2日後、異常高血糖(高浸透性非ケトン性昏睡)、急性腎不全発現(呼吸困難、意識昏迷状態、コーヒー残渣物嘔吐など)。同日、意識状態悪化、呼吸状態悪化、心電図異常(急性腎不全による)発現。その2日後、心電図正常化。その4日後、異常高血糖(高浸透性非ケトン性昏睡)、急性腎不全回復。DMコントロール、下肢不全麻痺のリハビリの為、転院
6	B-01903997	男	3歳	150 mg	レボフロキサシン ピロミド酸 ヒベンズ酸チペピジン フロモキセフナトリウム セラペプターゼ アズレンスルホン酸ナトリウム	感覚鈍麻	軽快	39.4℃発熱あり、インフルエンザと最近の混合感染疑いリン酸オセルタミビル投与開始(確定診断は行っていない)。投与2日目に両手のしびれ、全身に発赤、かゆみが出現。本剤及び併用薬の投与中止。抗ヒスタミン剤投与開始。手足のしびれ等発症3日後両手のしびれ軽快し手根管症候群と確定診断。発疹も消失。
7	B-01907263	女	■歳	50 mg		浮動性めまい	回復	発熱(39.2℃)、近所でインフルエンザの流行があり、家族の強い希望にてリン酸オセルタミビル投与開始(確定診断せず)。この日は発熱のみで食事とれていた。投与2日目、ふらつきとともに口内痛あり、経口摂取低下。投与3日目に下痢発現(本剤投与終了)。翌日も同様の症状が続いたため来院、経口摂取不可、自力でトイレに行けず、入院(39.6℃)。症状発現から6日後失調は軽快。7日後解熱。9日後回復、退院。
8	B-01912004	男	8歳	150 mg	塩酸ミノサイクリン シメトリド・無水カフェイン フロロペネムナトリウム ロキソプロフェンナトリウム	幻覚	回復	インフルエンザに対して、本剤他処方され、経口投与開始。5日後とも、熱がおさまってから幻覚(天井に赤い花が見えるなど)、幻視発現。本剤他投与中止。幻覚発現3日後、幻覚、幻視回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
9	B-01912005	女	9■歳	150 mg	テオフィリン ランソプラゾール メトクロプラミド ゾピクロン カルボシステイン センノシンド セラペプターゼ レボフロキサシン	幻覚	回復	発熱(39°C)、腰痛発現。(CRP4+)のため、クラビット処方。 翌日、インフルエンザ疑いのため、本剤処方。 処方5日後、幻覚(幻視:木が倒れてくる。幻聴:ハチの発ぶ音)発現。本剤投与中止。 翌日、幻覚軽快。 投与中止3日後、幻覚完全回復
10	B-01912114	男	■歳	75 mg	テオフィリン 塩酸セフカペンピボキシル ヒベンズ酸チペピジン ツロブテロール	幻覚 恐怖	回復	体温39.1°C)、インフルエンザ疑いで本剤服用。 約2時間後、急に目を開き、タオルを取ろうとするもうまく取れないといい泣き叫ぶ。この時心悸亢進2+。 約5分後、症状消失。 症状消失から5時間後、再度本剤投与。 その1時間半後、突然目を開き、意味不明のことを口走り、泣き、叫ぶ様な状況が何度か繰り返される。 約5分後、症状消失。 翌日、解熱
11	B-02900229	男	7■歳	150 mg	エリスロマイシン 葛根湯 ピペラシリンナトリウム	幻覚	回復	詳細不明
12	B-02900597	男	1■歳	150 mg	クラリスロマイシン リン酸ジメモルファン カルボシステイン アセトアミノフェン	離人症 無表情 無関心	回復	リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。投与4日目に無気力、無表情、離人感発現し、本剤投与中止。事象発現後、6日目に回復。
13	B-02900727	女	■歳	100 mg	セフテラムピボキシル	幻覚	回復	インフルエンザ様疾患のためリン酸オセルタミビルを18時頃服用開始。20時45分幻覚様症状発現。睡眠中突然目を開き一点凝視。名前を呼ぶも返答せず、何度かの呼びかけで返答するようになる。5分後幻覚様症状回復、意識清明後の検温では37°Cであった。翌朝7時頃本剤2回目服用、服用2時間後より腹痛、嘔気あり。1時間程度で症状消失。19時に本剤3回目服用後腹痛、気分不良。30分程度で症状消失。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
14	B-02900900	男	■歳	37.5 mg	塩酸ツロブテロール クロモグリク酸ナトリウム 塩酸プロカテロール テオフィリン ヒベンズ酸チペピジン d-マレイン酸クロルフェニラミン	感覚鈍麻 意識レベルの低下	回復	約5ヶ月前より気管支喘息発症し、クロモグリク酸ナトリウム、塩酸プロカテロール、テオフィリンの服用歴あり。リン酸オセルタミビル服用後まもなく、手の震え、ボーッとした感じあり。処方中止し、他剤に変更。本剤服用後、24時間以内に症状消失。なお、患者には卵・牛乳アレルギーあり。
15	B-02901093	女	7■歳	150 mg	塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン 臭素水素酸デキストロメトルファン 塩酸ジフェンヒドラミン 桜皮エキス セネガ セラペプターゼ 塩酸プロモヘキシソ	譫妄 不穏	回復	詳細不明。認知症あり。
16	B-02901232	女	■歳	75 mg	アモキシシリン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン ピフィズス菌製剤	協調運動異常	回復	インフルエンザA型陽性であったが、熱性痙攣を起こしていたためリン酸オセルタミビルを投与開始。投与2日目、目が回る、フラフラするなどの失調症状発現。投与継続し、3日目朝には、症状みられないが、5回目投与後に失調症状発現。3時間経過後、失調症状軽快し、投与中止。
17	B-02901391	女	1■歳	75 mg	リン酸ベンプロペリン アセトアミノフェン	失神	回復	インフルエンザが疑われリン酸オセルタミビル1カプセル(75mg)を服用。投与後1時間後、トイレに行き倒れる。症状としては、ボーツとなり、強直が認められるもすぐに戻る。その間の記憶なし。服用2時間半後、意識清明。
18	B-02901392	女	1■歳	67.5 mg	リン酸ジヒドロコデイン配合剤 ヒベンズ酸チペピジン	失神	回復	インフルエンザが疑われリン酸オセルタミビル0.9カプセル(67.5mg)を服用。服用2時間後、冷蔵庫の物を取ろうとしたときに、一瞬意識がなくなり倒れた。その時の記憶ははっきりしない。45分後に輸液を投与し、数時間後に一般状態まで回復。
19	B-02901935	男	■歳	75 mg	葛根湯 アモキシシリン 桂麻各半湯 アジスロマイシン リン酸ジヒドロコデイン/dl-塩酸メチルエフェドリン/マレイン酸クロルフェニラミン デキサメタゾン	幻覚	回復	発熱により受診し、インフルエンザと診断されリン酸オセルタミビル75mgを分割投与(1日)。深夜、訳のわからないことを1時間程言い続ける。投与1日後、50mgへ減量し、継続投与したが、幻覚症状なし。投与開始3日後、解熱。投与開始5日後に投与中止。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
20	B-02902041	女	1歳	150 mg	カルボシステイン リン酸ジメモルファン 塩酸シプロヘブタジン	譫妄	回復	腹痛あり、A型インフルエンザと診断。治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。本剤を朝服用開始し、当日夜寝る前興奮し、変な夢を見ているようだった。本剤投与中止。翌日朝、意識が清明に戻る。
21	B-02902181	男性	1歳	150 mg →75	プラノプロフェン テプレノン ドンペリドン	譫妄 幻覚	軽快	臨床症状よりインフルエンザと診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与1日目夕刻、異常な発現を観察、翌朝まで何回かのうわ言が観察される。その後投与量を75mg/日に変更して本剤投与を継続するが、有害事象の発現はなし。
22	B-02902182	女	8歳	150 mg	酸化マグネシウム マレイン酸フルボキサミン クエン酸モサブリド プラバスタチンナトリウム ファモチジン ポラポレジンク アセトアミノフェン	幻覚	軽快	幻覚の発現状況は不明。原疾患：痴呆(高脂血漿、胃潰瘍を合併)で、約3年前(1999年6月)よりアセトアミノフェン以外の併用薬剤を継続使用。
23	B-02902384	男性	1歳	150 mg	リン酸ジメモルファン 塩酸アンブロキシール 硫酸サルブタモール DL-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン	認知不能症	回復	詳細不明
24	B-02902740	女性	3歳	150 mg	ホスホマイシンナトリウム ロキソプロフェンナトリウム セフポドキシムプロキセチル レバミピド	感覚鈍麻	不明	詳細不明
25	B-02903545	女	1歳	75 mg	リン酸ジヒドロコデイン アセトアミノフェン	浮動性めまい	回復	詳細不明
26	B-02903705	女性	1歳	不明		味覚異常	不明	インフルエンザにリン酸オセルタミビル投与。味覚異常発現。 転帰不明。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
27	B-02906808	男	■歳	150 mg	イブプロフェン ドンペリドン アセトアミノフェン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン メキタジン	浮動性めまい	回復	発熱(38.9℃)、大腿部痛を訴え歩行困難。同日、体温39.2℃、嘔吐で本剤投与。 翌日、頭痛、嘔気、倦怠感を訴え元気がないため点滴(ソリタT1 500ml、20%グルコース 40ml)施行。本剤を120mg/日に変更。 同日の夕刻、嘔気とめまいを訴え、ふらつき歩けなくなる。 2日後、本剤は中止となる。 めまい、ふらつきが改善しないため、他院転院。 転院2~3日後、回復退院となる。
28	B-02909730	女性	7■歳	150 mg	ブラバスタチンナトリウム クエン酸モサプリド フドステイン セフジニル トラネキサム酸 臭化水素酸デキストロメトルファン カルボシステイン オキサトミド ジフェンヒドラミン フルオンノイド ベタメタゾン/α-マレイン酸クロル フェニラミン 塩酸フェキソフェナジン スクラルファート	反射減弱 末梢性ニューロパシー	不明	A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを治療目的に投与。本剤服用終了約1月後に四肢末梢のしびれ(末梢神経障害)発現。その後、全身脱毛、腱反射減弱、神経因性膀胱、食欲不振等発現。原因精査も治療目的のため入院し、処置を行い末梢神経障害や食欲も徐々に回復。転帰は不明。
29	B-02911509	女性	3■歳	75 mg		痙攣	不明	インフルエンザ感染症を疑い、リン酸オセルタミビル75mg/日を処方。帰宅後、本剤75mgを服用したところ、痙攣が発現し、病院に搬送されたがその後の詳細不明。
30	B-02912658	女性	5■歳	150 mg	五虎湯 血圧降下剤	意識レベルの低下	回復	近医にて耐糖能異常と診断されたが投薬なし。低血糖発作既往、TIAの既往なし。インフルエンザ治療のため午前中より、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始2日目に食事の後本剤服用10分後に気分不良、冷汗、意識もうろう、全身発汗発現、トイレにて倒れる。動悸著明。約1時間半後、処置せず症状回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
31	B-02913074	女性	■歳	90 mg		片頭痛	回復	インフルエンザ予防目的(家族がインフルエンザA発症のため)にて、リン酸オセルタミビル投与。本剤投与4回目の服用後、2~3時間後に強い右側頭部痛、嘔吐あり。カロナール坐薬を使用するも痛み軽快せず、イミグラン投与後軽快。片頭痛の既往歴有り。
32	B-02913958	女性	1■歳		バルプロ酸ナトリウム	痙攣	回復	全般性てんかんの治療中(開始日:2002/02/18)。インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル(量不明)を5日間投与。投与終了後5日後に全身性けいれん、意識障害が発現。投薬により症状軽快。2日後には症状安定。
33	B-02913961	女性	3■歳	75 mg	塩酸ベタキソロール オキサトミド エバステン ビタミンB1・B6・B12配合剤 リンゴ酸カルシウム マレイン酸フルボキサミン アトルバスタチンカルシウム フマル酸第一鉄 セフジニル ドンペリドン 総合感冒薬 テプレノン 塩酸チラアミド	大発作痙攣	回復	慢性腎不全により透析を継続中であった。てんかん、痙攣の既往歴無し。インフルエンザを疑い、リン酸オセルタミビル75mgを服用。服用約1日後、一過性の足しのしびれに続き、意識消失あり。約5時間後、てんかん大発作あり。1時間後、回復。服用10日後、脳波施行にてslow wave burst(徐波群発)1回あり。約2週間後にも同様の徐波群発を認める。
34	B-02930098	男	1■歳	150 mg	メクロブラミド ラフチジン ロキソプロフェンナトリウム	ジスキネジー	回復	インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビル服用開始。投与開始3日目に解熱し本剤服用終了。投与終了1日後の18時頃、突然頭を後ろに引っ張られるような感じがあり、首を左へ回旋。眼球右共同偏視、喋り難い、目が閉じ難い等の顔面・上肢等の不随意運動発現。意識清明。22時頃急患受診、ジアゼパムにて鎮静、入院。投与終了2日後歩行など正常となり、不随意運動回復。
35	B-02930734	女	■歳	75 mg	塩酸トリメキノール セフジニル 塩酸プロムヘキシン	構語障害 意識レベルの低下 感覚鈍磨	回復	発熱、咳嗽のためセフジニル、塩酸トリメキノール、塩酸プロムヘキシン内服。翌日A型インフルエンザとの診断でリン酸オセルタミビル投与開始、これまでの薬剤は中止となる。本剤服用1時間後より手の震え、意識減損、言語障害発現し受診。経過観察目的にて入院。本剤中止し塩酸アマンタジンに変更となる。翌日、解熱し言語も可能となり、意識レベルもクリアとなった。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
36	B-02931235	男	■歳	75 mg	カルボシステイン セフジニル マレイン酸クロルフェニラミン リン酸ジヒドロコデイン 塩酸メチルエフェドリン ロキソプロフェンナトリウム	痙攣	回復	インフルエンザB型と診断、リン酸オセルタミビル75mg/日を処方。本剤75mgを服用。翌朝、75mgを服用し解熱。同日夜、10分程度持続する全身の痙攣が発生し、自然軽快。後遺症なし。自己判断で本剤服用中止。2日後、受診時、咽頭痛のみでその他は無症状。
37	B-02931386	女	7■歳	150 mg	アンピシリンナトリウム ポラプレジック スリンダク テブレノン 塩酸エベリゾン ジアゼパム 臭化ジスチグミン フロセミド ヒトインスリン(遺伝子組換え) プロチゾラム	嗜眠	軽快	細菌性髄膜炎、敗血症発症し入院。血小板減少を認めさらに一過性の意識障害を認めた。その後、A型インフルエンザと診断され、治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。投与3回目内服後、しばらくして傾眠状態に陥る。その後、痰つまり、血圧低下等有り。同日本剤等併用薬のほとんどを中止とし、インフルエンザ回復と判断。その後意識低下等のための処置を行い、意識消失後6日目に経口摂取可能となり、全ての副作用軽快と判断。その後も意識レベル変動あり。
38	B-02931630	女	7■歳	150 mg	塩酸ラニチジン ニセルゴリン プラバスタチンナトリウム カンデサルタンシレキセチル トリクロルメチアジド シルニジピン	痙攣	回復	基礎疾患として、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、高脂血症、高血圧、多発性脳梗塞を持ち、治療中(開始日:2001年頃)。臨床経過より、インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。投与を開始した翌日の昼に痙攣、意識障害が発現。同日、入院し、本剤の投与中止。翌日、軽い眩暈があるが、意識清明。さらに翌日、意識清明、眩暈消失、痙攣回復。
39	B-02932488	男	7■歳	150 mg	アジスロマイシン水和物 非ピリン系感冒剤 セラペプターゼ	糖尿病性昏睡	未回復	悪寒、発熱(38.5°C)のため本剤投与開始。3日後嘔吐、倦怠のため投与中止。中止2日後、糖尿病性昏睡発現。インスリン処方。2ヶ月後、糖尿病性昏睡軽快
40	B-02933019	男	1■歳	150 mg	アスピリン・VC配合剤 サリチルアミド/アセトアミノフェン/ 無水カフェイン/プロメタジンメチレンジサリチレート 臭化水素酸デキストロメトर्फアン	意識消失	回復	インフルエンザのためリン酸オセルタミビル服用開始。19時頃2回目服用後臥床。23時頃自力で立位を保てず意識を失った。そのとき失禁。すぐに下の布団に戻し、約5分後に症状回復。翌日インフルエンザ回復。
41	B-02934174	男	4■歳	150 mg	塩酸ツブテロール カルボシステイン トラネキサム酸 ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキソール	視野欠損	未回復	インフルエンザの疑いにてリン酸オセルタミビルを投与(投与日数不明)。投与開始10日後、視野狭窄発現。発現後、1ヶ月以上経過後も未回復。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
42	B-03005261	女	2■歳	150 mg	硫酸セフピロム	失神 心室性期外収縮	回復	インフルエンザと確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与3回目の2時間後に意識消失、入院。来院時、意識回復、血圧正常も、体温上昇及び心電図上期外収縮の頻発を認める。投与4回目においても、全身性脱力及びモニター上期外収縮を認める。3日目の服用中止、以後神経症状なし、その他の有害事象も回復。
43	B-03007837	男	■歳	112.5 mg	なし	意識レベルの低下	回復	インフルエンザと確定診断後、リン酸オセルタミビル112.5mg/日を投与開始。投与1回目直後に嘔吐、10分後再服用時の30分後に意識不明の言動を認める。有害事象発現30分後に処置なしで回復、入院して継続投与するも、その後は有害事象を発現せず。
44	B-03008278	男	1■歳	75 mg	リン酸ジメモルファン カルボシステイン ツロブテロール 塩酸シプロヘプタジン	痙攣 意識レベルの低下	回復	インフルエンザと確定診断後、リン酸オセルタミビル75mg/日を投与開始。投与1回目の3時間後に足重感、4時間後に意識消失及び数分の痙攣。有害事象発現5分後に処置なしで回復、入院して投与中止、その後は有害事象を発現せず。
45	B-03008971	男	1■歳	150 mg	ヒベンズ酸チペピジン	失神	軽快	臨床症状及び経過よりインフルエンザと診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与1回目後、腹痛発現、その3時間後に眼前暗黒感出現し転倒、下痢便失禁。転倒後約90分後に救急搬送、意識ほぼ清明も血圧低下及び心部と恥骨上部の軽度圧痛あり。乳酸加リンゲル及び酸素投与により、血圧及び脈拍回復、全身倦怠感軽快。
46	B-03009369	男	1■歳	150 mg	カルボシステイン 塩酸ブロムヘキシン 塩酸プロカテロール セフジトレンピボキシル	統合失調症	軽快	臨床診断からインフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。夜から内服開始。4日目まで服用し、インフルエンザ様症状は改善。服用終了後5日目頃から、身体がおかしいとの訴えがあり、経過観察のため入院。妄想様言動、全身を随意的に前後に揺さぶるような震え等が認められた。入院3日目に妄想様言動等が認められず退院となったが、翌日精神科に受診したところ統合失調症が考えられ、外来で経過観察となった。2週間後、症状はほとんど消失。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
47	B-03009370	男	■歳	80 mg	クラリスロマイシン 塩酸プロカテロール カルボシステイン 塩酸プロムヘキシシ	記憶障害 書字障害 異常行動	軽快	リン酸オセルタミビル80mg/日他を処方。開始3日目に、落ち着きがなく会話のつじつまがあわないことに母親が気づく。3日後、通学するも、学校で異常行動が見られ、入院。文字が書けなくなる、父親の名前を忘れる等の症状が出る。7日目に退院。翌日、質問の答えに少し正確性が増す、物の置き場所を思い出す。1ヶ月以上後、母親のはなしでは、文字、計算等は7~8割程度戻ったとのこと。
48	B-03009466	女	1■歳	75 mg		ミオクローヌス	回復	発熱と頭痛から、自宅にあったリン酸オセルタミビル75mgを服用。4時間後、脱水予防のための点滴を受け、その30分後から不随意運動出現。熱が高くなったり緊張したりすると憎悪。インフルエンザA型と診断。事象発現3日目朝に不随意運動消失。
49	B-03009543	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	意識レベルの低下	回復	自宅にあったリン酸オセルタミビル150mg/日及びアセトアミノフェンを服用。同日夜、多汗、顔面蒼白になり後方に転倒、意識不明となる。病院では意識清明でインフルエンザA型と診断され帰宅するが、脱力転倒、関連性のない発語を繰り返し、呼びかけへの応答はない。翌朝は、意識清明で、本人は転倒した記憶もあり。入院し頭部CT、腰椎穿刺を行うが異常所見なし。以降、意識障害なし。
50	B-03009903	男	■歳	72 mg		譫妄	回復	リン酸オセルタミビル72mg/日投与後、うわごとが発現。本剤投与終了日にうわごと回復。
51	B-03009909	男	■歳			痙攣	回復	リン酸オセルタミビルを投与後、痙攣が発現。その後回復した。
52	B-03009966	男	6■歳	75 mg	テオフィリン ブランルカスト水和物 テプレノン プロピオン酸フルチカゾン	痙攣 意識消失	回復	喘息のため、テオフィリン、ブランルカスト水和物、テプレノン(以上開始日:2001/07/14)、プロピオン酸フルチカゾン(開始日:2002/05/28)を投与中。インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日処方。同日夜、75mgを服用。その7時間後、意識消失発作あり転倒したが、1分程度で意識が戻る。その2時間半後、眼球上転、全身痙攣出現、便失禁あり。1分程度で痙攣消失し意識清明となる。入院したが、意識清明。本剤内服は中止。7日間入院したが、その間意識消失、痙攣なし。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
53	B-03010065	女	7歳		PL リン酸ジメモルファン 塩酸セフカペンピボキシル ベンフォチアミン・B6・B12配合剤 (1) 塩酸ジルチアゼム バファリン81mg トリアゾラム	妄想 幻覚	回復	インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル(量不明)を服用(併用薬の服用状況は不明)。翌日、解熱したが、夜間より、幻覚、妄想出現。2日後入院、本剤中止。事象発現から6日目に幻覚消失。
54	B-03010648	男	1歳	150 mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸アンブロキシール ノスカピン ベタメタゾン・d-マレイン酸クロル フェニラミン	意識レベルの低下	回復	インフルエンザA、B型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。夕食後75mgを服用。同日夜、3回続けて倒れ、意識喪失もあり。翌日昼、受診時は意識清明。
55	B-03010786	女	7歳	150 mg	アルファカルシドール ニフェジピン	幻覚 妄想	回復	高血圧、骨粗鬆症で投薬中(開始日:2001/10)。インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日5日分を処方。2日間服用後の夜中、起床し、異常な発言を行い、そわそわして寝ない。翌日朝、服用後、本剤の投与中止。同日午前中に受診し、会話正常。翌日午前中まで昼夜の区別がなかったが、午後になり通常の状態に戻る。
56	B-03010917	女	3歳	150 mg	メキタジン 塩酸チアラミド リン酸コデイン	視野欠損	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。4日目の夜、内服後に視野が狭くなり、気分不良となった。1~2時間後には回復。
57	B-03010918	女	1歳	132 mg	臭化水素酸デキストロメトर्फアン 塩酸チアラミド	視野欠損	回復	リン酸オセルタミビル132mg/日他を処方。3日間服用し、4日目の起床時、右目の下半分が見えなくなったため、投薬中止。2~3時間後、回復。
58	B-03010985	女	2歳	150 mg	ブロン錠12 カルボシステイン レバミピド アセトアミノフェン	痙攣	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。4日目深夜、ブロン錠を服用後、耳鳴り、眩暈、ふるえが出現。4時間後、全身性痙攣が発現。眩暈、振戦、心房細動を認める。治療により2時間ほどで回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
59	B-03011309	女	3■歳	75 mg	トラネキサム酸 塩酸アンブロキシソール 塩酸クロフェダノール アセトアミノフェン	浮動性めまい 悪心	未回復	インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル75mg/日他を処方。夜から投与開始、翌朝の服薬までで投与中止。嘔気、ふらつきがあり動けない様子。1ヶ月弱がすぎても、浮動性めまい、嘔気は未回復。
60	B-03011619	女	■歳	180 mg		精神障害 表出性言語障害 流涎過多 嚔下障害	未回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル180mg/日を処方。投与3日目に、えん下障害、精神障害、言語障害、唾液分泌促進が発現し、本剤投与中止。1ヶ月以上過ぎてても、大量の唾液と、少し言語障害がある。
61	B-03012141	女	5■歳	150 mg		痙攣	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。夕方75mgを服用。3時間後に上肢が痙攣したが、1時間ほどで改善。
62	B-03012367	女	1■歳			意識レベルの低下	回復	リン酸オセルタミビル(量、期間不明)を服用後、意識障害が発現し、2日目入院。入院3日目に意識障害は回復。
63	B-03013201	女	8■歳	150 mg	塩酸プロプラノロール ジアゼパム ベンフォチアミン・B6・B12配合剤 リシノプリル プラバスタチンナトリウム	譫妄	回復	30歳台から年1回程度心身症のため受診していたほか、高血圧、高脂血症のため治療中(開始日:不明)。インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。投与開始3日後に、幻視を訴えたほか、洋服を何枚もむやみに重ねて着るなどの異常行動があった。翌日、受診時には落ち着いていた。1週間後、再診時には幻覚などの症状はなくなり、再燃はなかった。
64	B-03900276	男性	■歳	90 mg	アセトアミノフェン ドンペリドン ピフィズス菌製剤	坐骨神経痛	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル90mg/日を投与開始。投与開始後3日目に両側下腿痛発現。翌日より本剤投与中止。有害事象発現8日目、回復。
65	B-03900392	男	1■歳	150 mg	セフジニル アセトアミノフェン ピペラシリンナトリウム スルピリン 塩酸ミノサイクリン	傾眠	回復	発熱のため受診。臨床的にインフルエンザと診断しリン酸オセルタミビルを5日間服用。服用一日後朝、嘔吐、発熱、歩行困難(フラフラ)、傾眠がち症状あり。投与中止後23日間、副作用継続。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
66	B-03901782	男性	2■歳	150 mg		味覚異常	軽快	インフルエンザに対して、本剤投与。 3日後、味覚異常発現。 発現4日後、味覚異常軽快
67	B-03903223	男	■歳	不明	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン	意識レベルの低下 不機嫌	軽快	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用のたびに不機嫌、意識もうろう等の症状出現。症状発現後しばらく経過観察していると症状消失していたらしい。翌日夜に発熱、咳嗽も続くため急患受診し本剤中止し入院。その後症状の出現なし。
68	B-03931385	女	3■歳	150 mg	レボフロキサシン 塩酸アンブロキシソール テブレノン ファモチジン	味覚異常	未回復	リン酸オセルタミビル150mg/日を5日間処方。本剤投与終了8日後に口腔内違和感、無味覚症発現し、未回復。
69	B-03931391	男	1■歳	37.5 mg	アセトアミノフェン フマル酸クレマスチン 塩酸ツロブテロール カルボシステイン	意識レベルの低下	回復	1998年6月から成長ホルモン分泌が低下しはじめ現在も成長ホルモンを投与している。インフルエンザ治療のため夕方よりリン酸オセルタミビル服用開始(39°C)。服用2日目の18時頃解熱していたがつかなくて横になっていた。嘔気出現し嘔吐後そのまま意識が悪くなった。意識低下は3分ほど持続。18時40分頃来院、顔色不良だが意識は清明。翌日点滴にて解熱傾向、嘔吐もなし。
70	B-03931781	男	■歳	120 mg	アセトアミノフェン レバミピド	幻視 異常行動	回復	発熱有り受診し、インフルエンザと診断される。本剤投与2日目、異常行動、痙攣発現。入院となるが、会話できる状態であったため、本剤内服継続し経過観察。脳波所見からインフルエンザ脳症と判断して、幻視、異常行動もインフルエンザ脳症と考え、本剤を投与継続。本剤服用3日目、解熱し、本剤服用中止となる。
71	B-03932360	男	■歳	68 mg	ヒベンズ酸チペピジン d-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸アンブロキシソール クラリスロマイシン	譫妄	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル68mg/日を投与開始。投与2日目夕刻、譫妄状態(母親のことが分からない、実在しないものが見える)発現。譫妄は一晩で改善したが、翌日も落ち着きがない状態が続く。脱水、肝機能障害があり入院し、同日、内服薬は全て中止。投薬中止から8日目には肝機能障害も回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
72	B-03933105	男	■歳	105 mg	アセトアミノフェン フマル酸クレマスチン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン	部分発作	軽快	体温40.0℃となり、アセトアミノフェン坐薬(200mg)使用。翌日、体温38.7℃、鼻水、鼻づまり、咳からむ、咳時々にて本剤投与開始。本剤2回目投与後、「こわい！」とわめく、視線合わなくなる。体温40℃となり、他院受診。「脳炎」ではないと言われる。翌日、体温38.2℃。その後本剤は服用せず、ふつうとなる。
73	B-03933783	女	■歳	40 mg	ロキタマイシン カルボシステイン 臭化水素酸フェノテロール 塩酸シプロヘプタジン	痙攣	軽快	インフルエンザB型と診断、リン酸オセルタミビル40mg/日を処方。5日目朝の服用後、投与終了。翌朝、意識なく、両手をびくびくさせたり、眼球上転し全身強直など、痙攣が何度か続く。他剤投薬により、午後になって意識清明。同日入院し、後遺症なし。4日後には痙攣重積回復。
74	B-03933859	女	6■歳	150 mg	カルベジロール レボチロキシナトリウム グリベンクラミド アカルボース	脳血栓 血圧低下	未回復	発熱(38.6℃)にて本剤服用開始。2日後、血圧低下。その2日後、本剤服用中止。服用中止21日後、右半身麻痺発症。2日後、入院し脳血栓症の診断。退院後も右半身麻痺症状は消失せず。
75	B-04000134	女	2■歳	150 mg	塩酸テルビナフィン アセトアミノフェン	意識レベルの低下 汎血球減少症	軽快	爪白癬の治療のため塩酸テルビナフィンを服用中。また、毎年の検診で白血球減少、貧血との由。40℃の高熱があり、診断キットでは(-)だったが、リン酸オセルタミビル150mg/日とカロナールを処方される。5日間服用後、翌朝から意識障害があり、受診したところ、汎血球減少があり、入院。搬入時は意識清明だったが、なぜ来たのかわからないとのこと。入院4日目、徐々に解熱、意識清明だが記憶、記銘力障害がのこる。脳波上徐波が目立つ。12日目、汎血球減少症、意識障害は軽快し、退院。言語リハビリへ通院。退院から1週間後のDLSTで、リン酸オセルタミビル及びアセトアミノフェン(-)、塩酸テルビナフィン(+/-)。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
76	B-04000835	男	7歳	150 mg	麻黄湯 アスピリン シメチジン	認知症	回復	アスピリン、シメチジンを投与されていた(開始日:不明)。38℃の発熱があり、インフルエンザA型と診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日及び麻黄湯を5日分処方されたが、4日目に認知症が激しくなり、家の間取りも忘れる。リン酸オセルタミビルを4日分で中止後、記憶力は次第にもどり、事象発現から7日目には認知症症状も良くなった。
77	B-04001019	男	1歳	75 mg		痙攣 意識レベルの低下	回復	39℃の発熱で、インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル75mgを服用後1時間半で意識障害、30分のけいれんが出現。入院し点滴を受け5時間半後には意識清明となる。事象発現から2日後には意識障害、痙攣は回復し、後遺症なく退院した。
78	B-04001616	男	1歳	150 mg	塩酸セフカペンピボキシル 塩酸メホルミン グリメピリド	譫妄	回復	ブラダーウィリー症候群、糖尿病、中等度精神発達遅滞により治療中(開始日:不明)。発熱があり、インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を4日間服用し(5日目の朝も服用したかもしれない)、症状は治まった。投与終了後3日目(2日目かもしれない)の夕食時より、興奮、意味不明の発言、言動まとまりなく意味不明の記号を書き続ける、手を洗い続ける等の事象が発言。翌日も言動まとまらず、「誰かが来る」と怖がる。事象発現4日目、混乱がつづくため入院となる。他剤投薬により症状は軽減。事象発現から12日目に譫妄は回復し、退院した。
79	B-04006355	女	8歳	150 mg	塩酸ドネペジル	不安	回復	老年痴呆、骨粗鬆症、背部痛、骨関節炎で塩酸ドネペジルを投与されていた。インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日が投与され、翌日にはほぼ解熱。投与3日目の夜、家が火事になった等の幻覚が発現。不穏状態が発現し持続するため、本剤の投与を中止。翌日には次第に不穏状態が軽快し、投与中止5日後には全く以前のとおりとなった。
80	B-04007755	女	1歳	150 mg	アセトアミノフェン 塩酸アンブロキソール ヒベンズ酸チペピジン	てんかん	軽快	リン酸オセルタミビル150mg/日他を投与。投与開始3日目で痙攣を発症、てんかんと診断。同日で服用終了。3ヶ月後、抗てんかん薬服用中。てんかんの症状はおさまっている。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
81	B-04008325	女	3■歳	150 mg	セフトレニピボキシル セファゾリンナトリウム ロキソプロフェンナトリウム サリチル酸ナトリウム・カフェイン 配合剤 リン酸クリンダマイシン アジスロマイシン水和物	精神障害 悪寒(N) 悪寒(N) 血中クレアチンホスホキナーゼ増加	回復	リン酸オセルタミビル150mg/日及びセフトレニピボキシル他を処方。4日目、39°Cに熱が上がり、肺炎出現のため、セフトレニピボキシルをアジスロマイシン水和物に変更受診。帰宅後アジスロマイシン水和物を内服後、40°Cの高熱とパニックが出現。病院でも奇声を発しのたうち回っているため入院。翌日パニックはおさまったが、炎症、肝障害が認められたが、本人の希望で退院。
82	B-04008398	男	1■歳	150 mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸ツロプロテロール メキタジン	幻覚 痙攣 意識消失	回復	診断キットでは(-)だったが、症状改善のためリン酸オセルタミビル150mg/日他を処方され、同日夕方、2回目服用後、突然、意識消失、痙攣発作出現。本剤も嘔吐。意識回復後も幻覚症状あり、治療。事象発現から7日目に回復。
83	B-04008523	男	1■歳	30 mg	アジスロマイシン水和物 アセトアミノフェン	意識レベルの低下	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル60mg/日他を処方。帰宅後、本剤30mgを服用。1時間後、軽度意識混濁発現、かん高いうなり声、約40分間の多弁、目が丸くなった、多動、41.7°Cの高熱が認められた。事象発現から1時間後には落ち着き、さらに1時間後に再度受診したが、意識清明、発熱38°C。翌日朝、調子が良くなり、36.8°Cに解熱。
84	B-04024623	男	■歳	不明		譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、夕方、リン酸オセルタミビル(量は不明)を服用。翌朝、2回目を服用し、解熱したが、食欲・活気不良。同日夕方、異常な発言あり、倒れ込み受診、軽度意識障害が疑われた。同日夜、救急外来を受診、平熱で歩いて入室し、見当識は保たれていたが、意識清明とは言えずごく軽度の意識障害が疑われた。本剤は2回の服用で終了。事象発現から9日目に徐波消失、退院。退院から18日後、夜間に突然、強い不安と軽度の意識変容が見られ、入院。経過は前回と全く同様で、10日目に退院。
85	B-04024731	男	4■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) セフジニル 塩酸プロムヘキシム 塩化デカリニウム 葛根湯	痙攣 意識消失	回復	B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。てんかん発作の既往あり、また、インフルエンザ罹患なしの状態、原因不明の意識消失の経験あり。最終投与(4日目)の翌日にけいれん発作及び意識消失の発現。搬送先での診断は、(側頭葉)てんかん疑い。バルプロ酸ナトリウム投与等の処置により、有害事象発現4日後回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
86	B-04024816	女	6■歳	150 mg	テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム アセトアミノフェン 塩酸エホニジピン メクロプラミド	意識レベルの低下 痙攣	回復	B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。最終投与(4回目)後当日中に、言語、行動異常出現。バルプロ酸ナトリウム投与等の処置により、有害事象発現16日後回復。
87	B-04025081	女	■歳	不明	なし	幻覚 嘔吐	不明	インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビルを服用後、まもなく幻覚あり、嘔吐し、泣いた。
88	B-04025444	女	4■歳	150 mg	アセトアミノフェン テブレノン	眼振	未回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与2回目の翌日に眼振発現、良性発作性頭位眩暈症と診断。その後継続加療中。
89	B-04026211	男	■歳	不明	なし	幻視	回復	B型インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビルを服用。投与開始後3日目に、幻視及び不機嫌(軽微)の有害事象発現、入院。本剤中止後5日後に回復。
90	B-04026213	男	5■歳	75 mg	なし	意識レベルの低下	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル75mg/日を投与開始。投与1回目の2時間後に嘔気自覚、引き続き意識消失及び嘔吐の有害事象発現。5分後には回復。翌日外来受診するが、有害事象は認められず。
91	B-04026477	男	■歳	40 mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	傾眠	回復	B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル40mg/日を3日間服用。投与開始後4日目、活気がなくなり、傾眠傾向がみられた(けいれんはなし)。8日目、発熱及び傾眠傾向が観察されるため、入院。11日目、回復。
92	B-04026632	女	3■歳	150 mg	クラリスロマイシン 非ピリン系感冒剤(4) メフェナム酸 トラネキサム酸 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	味覚異常	回復	発熱のため、リン酸オセルタミビル150mg/日、メフェナム酸及び非ピリン系感冒剤(4)を投与。投与開始後3日目、キットにてB型インフルエンザと確定診断、クラリスロマイシン他を追加処方(リン酸オセルタミビルは継続投与)。4日目、味覚障害(重篤でないが軽微でもない)が発現。5日目、頭痛、めまい及び発熱がみられたため、本剤投与中止。10日目にベタヒスチンメシル酸塩等による処置を行った結果、11日目に回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
93	B-04026769	男	3■歳	150 mg	アセトアミノフェン	意識消失	不明	インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを服用。投与終了後2日目、意識消失が発現。現在転帰不明。
94	B-04026773		■歳	不明	なし	痙攣	不明	B型インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビルを1回服用。解熱後、一過性痙攣で嘔吐。本剤投与中止。その後、症状は消失。
95	B-04026778	男	3■歳	150 mg	塩酸エプラジノン	頭痛	回復	B型インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを投与。投与開始後3日目、頭痛がひどくなるとの訴えから本剤投与中止。痛みが強いため、入院。その後、回復。
96	B-04026885	女	5■歳	150 mg	なし	浮動性めまい	不明	メニエール病の既往あり。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与。投与開始後2日目、めまいがひどいとの愁訴あり。4日目、本剤投与中止。体調不良の際にはめまいが発現するとの愁訴は報告時にも継続。
97	B-04026971	男	9■歳	150 mg → 225	塩酸チアラミド トロキシピド ニフェジピン アロプリノール アスピリン フロセミド ニコランジル 一硝酸イソソルビド 酒石酸メプロロール ファモチジン レバミピド ニトログリセリン 耐性乳酸菌配合剤(1)	ミオクローヌス	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与2日目夕刻、コンプライアンス上の問題あり(2~3カプセルを服用と推測)。同日深夜、不規則な振戦様の不随意運動出現。翌日も脱水著明、顔・体幹・四肢の不随意運動改善せず。リン酸オセルタミビルの服用中止。更にその翌日も、不随意運動改善せず、全身のミオクローヌス様不随意運動と診断、入院。有害事象発現後6日目回復、退院。
98	B-04027244	男	■歳	60 mg	なし	浮動性めまい	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル60mg/日を投与開始。夕食後服用、寝る前にふらつき(錐体外路障害の様子)が見られたため、リン酸オセルタミビルの服用中止。翌日有害事象改善。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
99	B-04027249	女	5歳	150 mg	塩酸オロパタジン	意識消失 発疹 顔面浮腫	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。2回目の服用後、胸部背部に発疹が出現するが、未処置のまま就寝。翌朝、発疹はやや軽減するが、顔面浮腫の自覚あり、さらに排尿時にごく短時間の意識消失発現。再度リン酸オセルタミビルを服用したところ、気分不良及び発疹増悪、入院。点滴加療等により、翌日回復、退院。
100	B-04027255	男	1歳	150 mg	ヒベンズ酸チペピジン	幻覚 幻聴	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル150mg/日及びヒベンズ酸チペピジンを投与開始。2回目の服用の2時間後、1回の幻聴出現。服用4時間後、4回の幻覚出現。幻覚出現の5時間後、両有害事象回復。
101	B-04027258	女	3歳	300 mg	なし	顔面神経麻痺	不明	A型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル300mg/日を投与開始。投与2日目頃より、左口角下垂、唾液流出、左顔面神経麻痺(重篤でないが軽微でもない)が発現。4日目、左眼瞼下垂と違和感。7日目、左顔面神経麻痺疑いと判断、その後の転帰不明。
102	B-04027262	女	■歳	不明	なし	痙攣 呼吸停止	不明	インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビル投与開始。本剤服用2-3時間後痙攣発現、呼吸停止。(再々にわたり詳細調査を依頼したが担当医の協力が得られず、これ以外の詳細不明)
103	B-04027265	女	■歳	80 mg	塩化リゾチーム セフジトレンピボキシル フマル酸ケトチフェン	嗜眠 低体温	不明	A型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル80mg/日を投与開始。投与2日目に嗜眠発現。3日目、低体温発現し、本剤投与中止。低体温は6時間で回復。
104	B-04027266	男	5歳	150 mg	ファロペネムナトリウム ロキソプロフェンナトリウム 非ピリン系感冒剤(4) アズレンスルホン酸ナトリウム・L- グルタミン	浮動性めまい 冷汗 嘔吐 下痢 血圧上昇 心電図QRS群延長	回復	B型インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを投与。投与開始3日目夜間より、冷汗、眩暈、悪心発現。3日目、完全右脚ブロック(QRSの延長)を確認。冷感、体動時眩暈、嘔気、嘔吐あり、入院。4日目、眩暈あるも嘔気、下痢回復。5日目眩暈続くも退院、以後転帰不明。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
105	B-04027318	女	8■歳	150 mg	バルプロ酸ナトリウム	うつ病	回復	てんかんの既往あり、バルプロ酸ナトリウム長期投与中。B型インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを投与。投与開始後7日目、異常な発言と共に意欲の低下著名、うつ症状発現。有害事象発現後7日目、回復。
106	B-04027499	女	■歳	200 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン レボプロキサシン	幻覚 痙攣	回復	A型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル200mg/日を投与開始。投与開始1日目、1回目の投与後、少しの震えを観察。2回目投与約1時間後、全身の震えるような痙攣発現、幻覚をみているような状態が1時間続いた。2日日本剤服用中止、痙攣回復も脱水症状あり、入院。3日目、有害事象回復し、退院。
107	B-04027500	女	4■歳	75 mg	なし	意識消失	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。1回目の服用30分後、意識消失発現、転倒し、前頭部を床にぶつける。5分後、意識回復。本剤服用中止。その後は有害事象発現せず。
108	B-04027668	男	6■歳	150 mg	メフェナム酸 非ピリン系感冒剤(4)	味覚異常	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与開始2日目、味覚障害を発現。合計5日間本剤服用した後、投与中止。翌日、味覚障害回復。その後9日目、調子が悪くなり(だるい)、悪寒、味がおかしくなるとの訴えあり。味覚障害については、報告時未回復。
109	B-05000045	女	■歳	70 mg	なし	失語症 意識レベルの低下	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル70mg/日を投与開始。投与開始2日目夕刻、自分の名前、年齢等が言えないことが観察されるため、入院。本剤の服用は、2日目の朝で中止。翌日、有害事象回復するも、有害事象発現時の状況に関する記憶なし。
110	B-05000047	男	■歳	36 mg	塩酸プロカテロール フマル酸ケトチフェン カルボシステイン	意識レベルの低下	回復	A型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル36mg/日を投与開始。投与1回目10秒後、嘔吐と一過性の意識障害(数秒間)が発現。すぐに回復。入院して経過観察するが、以後有害事象の発現なし。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
111	B-05000146	男	2歳	150 mg	アセトアミノフェン	意識消失	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与開始2日目朝の本剤服用前、意識消失発作(数分間)発現、救急受診時には意識回復したが、観察入院。夕刻、本剤を内服するが、有害事象発現せず。翌日退院。
112	B-05000160	女	6歳	150 mg	アセトアミノフェン	筋痛(両上肢脱力を伴う筋肉痛) 感覚障害(上半身皮膚知覚異常)	未回復	発熱、関節痛のためインフルエンザ確定診断を実施せずリン酸オセルタミビルを投与開始。翌日両上肢脱力を伴う筋肉痛、上半身皮膚知覚異常発現。その後の処置、転帰等については不明。
113	B-05000322	男	5歳	75 mg	フルオキシメステロン プレドニゾン テブレノン ニコチン酸トコフェロール 塩化カリウム ジピリダモール 塩酸アンプロキシソール 臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸セフカペンピボキシル 非ピリン系感冒剤(4) レノグラステム(遺伝子組換え) ロキソプロフェンナトリウム	痙攣(全身性痙攣)	軽快	発作性夜間血色素尿症、再生不良性貧血、慢性腎不全の既往あり。38℃を超える発熱出現感冒薬等投与するが、2日後になっても発熱、倦怠感持続のため受診。迅速検査でインフルエンザBと診断、リン酸オセルタミビルを投与。2回投与後全身性の硬直性痙攣が出現し、数分間持続。その後通常状態に戻るも、痙攣の前半部の記憶は定かでない。腎機能増悪のため治療。
114	B-05000394	女	4歳	150 mg		意識レベルの低下 落ち着きのなさ	回復	39℃の発熱があり受診、インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを投与。4日間自宅で療養。4日目の夜、意識障害、不穏状態発現。投与を中止し翌日インフルエンザ確定診断実施するがウイルス検出されず。意識レベルが低かったため入院、ステロイドパルス療法により症状軽快、症状発現3日後にほぼもとの状態に回復し、7日後に回復退院。
115	B-05000602	女	■歳	50 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン フマル酸ケトチフェン カルボシステイン ラクトミン	意識レベルの低下(意識消失)	回復	アトピー性皮膚炎、食物アレルギー等の既往あり。日本脳炎ワクチン接種の翌日38.9℃の発熱、迅速検査でインフルエンザB型と診断されリン酸オセルタミビル投与。本剤服用開始4日後の夜突然転倒し、約10秒間意識消失、約10分間顔色不良、その後意識回復し、清明。その後2日間投与を継続したが異常なし。心電図、血液、脳波、全能MRI検査を実施するも異常を認めず。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
116	B-05000676	男	3■歳	75 mg	塩酸エピナスチン ジクロフェナクナトリウム 鎮咳配合剤(1) 非ピリン系感冒剤(2) アズレンスルホン酸ナトリウム・L- ーグルタミン 耐性乳酸菌製剤(2)	意識消失(意識消失発作)	回復	季節性アレルギーの既往歴。38.3℃の発熱、咽頭痛、咳、軟便の自覚症状あるため、確定診断陰性であったがリン酸オセルタミビルを投与。翌朝服用1時間後に突然意識消失発作発現、5秒程度で全く後遺症残さずに回復するが、本人はその間の記憶は全くない。本剤の服用を中止し、受診するが全身状態全く異常なし。
117	B-05000768	男	2■歳	150 mg	カルマバゼピン バルプロ酸ナトリウム クロナゼパム	眼の脱臼(眼球上転) ジスキネジー(不随意運動 (四肢))	回復	元来強剛性脳性麻痺がある患者。インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビルの投与を開始。翌日眼球上転、不随意運動(四肢)が発現。本剤の投与を中止し、翌日に回復した。
118	B-05000870	女	8■歳	150 mg		味覚異常(味覚障害)	回復	インフルエンザB発症しリン酸オセルタミビル5日間投与。投与終了2日後インフルエンザ軽快したが、味覚障害・嗅覚障害発現。味覚障害等発現6日後回復。
119	B-05000873	女	2■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) 鎮咳配合剤(1) 塩酸アンプロキシソール	痙攣(痙攣) 失神(失神)	回復	インフルエンザB発症しリン酸オセルタミビル投与。本剤投与3日目の朝服用後1~2時間後腹痛、嘔吐、手足のしびれあり。意識消失、失神、痙攣発現。数分で軽快、特に処置せず。夜に本剤投与したが何事もなかった。翌日受診するが特別な所見は認めず。
120	B-05000880	女	6■歳	150 mg		味覚異常(味覚障害) 嗅覚錯誤(嗅覚障害)	回復	インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビルを投与。投与開始4日後に味覚障害、嗅覚障害発現。その後も投与を続け、開始5日後に投与終了。投与終了後8日で軽快。
121	B-05001017	女	7■歳	150 mg	塩酸ドネペジル 塩酸ラニチジン スクラルファート	意識レベルの低下(意識障 害)	回復	老年痴呆の既往あり。インフルエンザA,B治療のためリン酸オセルタミビルの投与を開始。6日間投与を2クール実施後4日後に意識障害が発現。終日眠っており覚醒しない。補液のみで翌日から回復に向かい、意識障害発現後5日後に意識障害は回復した。
122	B-05001027	男	5■歳	150 mg		味覚消失(味覚喪失) 無嗅覚(嗅覚喪失)	未回復	インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビルを投与開始。本剤投与2日目から味覚障害・嗅覚障害発現。本剤投与4日目まで中止し、耳鼻科受診するが、味・嗅覚喪失改善されず、以後耳鼻科にて投薬を受けている。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
123	B-05001028	男	■歳	99 mg		譫妄(譫妄(意味のわからない事を言う))	軽快	インフルエンザに対してリン酸オセルタミビルを投与開始。翌日譫妄(意味のわからない事を言う)発現。本剤の投与を中止したところ翌日軽快。
124	B-05001125	男	6■歳	75 mg	カルボシステイン ステアリン酸エリスロマイシン	意識レベルの低下(タミフルのアレルギー反応(意識障害))	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与。食後カルボシステイン、ステアリン酸エリスロマイシンと同時に服用したところ5分以内に意識がなくなる。救急車到着後まもなく意識が戻ったため、自宅静養。回復する。その数日後、再度受診し本剤DLSTの検査を行ったところ、S.I.値217%であった。
125	B-05001224	男	■歳	110 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン パモ酸ヒドロキシジン	落ち着きのなさ(不穏状態) 幻覚(幻覚)	回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与。本剤服用後入眠しその3時間後、覚醒直後から幻覚などの異常行動出現。当日中に再度受診し、生食点滴にて症状回復。
126	B-05001259	男	■歳	80 mg		幻視(幻視) 譫妄(夢遊状態)	回復	インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビル投与2日後突然起きだしげらげら笑い出し、つまむような手の動作をする。発熱39℃。同じ状態が解熱するまで4日間続く。平熱になり、意識正常になった2日後インフルエンザA発症、本剤を1日投与するが譫妄等なく解熱する。
127	B-05001265	女	5■歳	150 mg	セフジトレンピボキシル セラペプターゼ リン酸ジメモルファン メトクロプラミド ジサイクロミン・水酸化アルミニウム配合剤 酸化マグネシウム	悪夢(悪夢)	回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与。投与開始日の夜、悪夢発現。発熱中夜睡眠時に悪夢発現。本剤投与開始3日後平熱化し、自覚症状改善したため、当日夜の服用を中止したところ、悪夢を見なくなった。回復。
128	B-05001338	男	5■歳	150 mg	セフジトレンピボキシル セラペプターゼ リン酸ジメモルファン メトクロプラミド ジサイクロミン・水酸化アルミニウム配合剤 アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン	悪夢(悪夢)	回復	前日から38℃発熱、インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビル投与。その夜悪夢出現。飲み続けた2日間、悪夢継続。本剤投与中止により悪夢の自覚症状改善。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
129	B-05001513	女	6■歳	150 mg	テオフィリン 非ピリン系感冒剤(2) セフトキシムプロキセチル アセトアミノフェン アスピリン アルファカルシドール バルプロ酸ナトリウム トロキシピド トラピジル 沈降炭酸カルシウム プロチゾラム クエン酸モサプリド 塩酸チアラミド 鎮咳配合剤(1)	痙攣(けいれん重積発作)	回復	脳梗塞、慢性腎不全、血液透析の既往あり。咳、発熱(38.5℃)嘔声出現し、塩酸チアラミド及び鎮咳配合剤4日間投与。その後も発熱、喘鳴が続くため、確定検査によりインフルエンザB確定診断しリン酸オセルタミビル投与。3日後解熱するが喘鳴改善なく、感冒薬投与。翌日全身痙攣をきたし、救急搬送。けいれん重積発作が3時間続く。その後回復。
130	B-05001646	女	6■歳	75 mg	非ピリン系感冒剤(4) セラペプターゼ 塩化デカリニウム アセトアミノフェン 維持液(3)	意識消失(意識消失(失神))	回復	前日から38℃発熱、咽頭痛、頭痛有り、受診しインフルエンザBと診断。治療のためリン酸オセルタミビル投与。その夜、意識消失(トイレで倒れ骨折)。失神は5分以内に回復。本剤投与は継続し本剤投与4日後にインフルエンザ回復。
131	B-05001648	女	■歳	不明		譫妄(譫妄)	回復	インフルエンザ治療目的のため、リン酸オセルタミビル投与。1回分服用後、譫妄発現(重篤でないし軽微でもない)し、親の判断にて服用を中止。その後、譫妄回復。
132	B-05001653	女	6■歳	150 mg	アズレンスルホン酸ナトリウム インドメタシン 乳酸リンゲル液 メクロプラミド	意識レベルの低下(意識障害)	回復	発熱・全身倦怠感を訴え外来受診。インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル投与。翌日午前中嘔吐し、再度外来受診。乳酸リンゲル液+メクロプラミド静注。手のしびれを訴えたがそのまま帰宅。翌日早朝、意識障害に気づき、救急病院に搬送され、本剤投与中止となる。翌日、家族から意識回復の電話連絡あり。
133	B-05001823	男	7■歳	75 mg	クラリスロマイシン クエン酸モサプリド センノシド 経腸成分栄養剤(2) イトラコナゾール	意識レベルの低下(意識レベルの低下)	回復	肺結核、肺真菌症の既往あり。以前より起立性低血圧の既往有ったが、意識レベルの低下歴は認められていない。38℃程度の発熱が続き、インフルエンザ確定診断テスト実施した結果、B型インフルエンザと診断され、治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。翌早朝ベッド前に倒れ、その際に左側頭部打撲、側頭部内出血。当日朝方に意識レベル改善し、夕食後より本剤投与中止となる。翌日インフルエンザ治癒。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
134	B-05002114	女	6■歳	150 mg	アジスロマイシン水和物 非ピリン系感冒剤(4) テプレノン エカベトナトリウム	味覚異常(味覚障害)	軽快	発熱有り受診し、B型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビルを投与。本剤投与後3日後、食欲不振、味覚障害発現(重篤でないし軽微でもない)。その翌日平熱となり本剤投与中止。本剤投与中止20日後、味覚障害軽快となる。
135	B-05002258	男	4■歳	150 mg		意識消失(意識消失)	回復	インフルエンザ治療目的にリン酸オセルタミビル投与。投与開始日、意識消失発現(30秒程度)。同日回復。4日後、本剤投与終了。
136	B-05003030	男	8■歳	150 mg	アスピリン・ダイアルミネート メシル酸ベタヒスチン 酸化マグネシウム	譫妄(譫妄)	回復	インフルエンザと診断され、治療目的にリン酸オセルタミビル投与。昼に本剤服用後、まだらボケ有ったが、夜も服用すると妄想、せん妄が発現(軽微)。翌朝も症状続いたため自己中止。その後症状緩和。その日夕方本剤再度服用するも、再び記憶があいまいとなる。翌日、本剤中止。その後、症状なくなる。妄想、せん妄回復。
137	B-05004406	女	■歳	32.5 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	痙攣(無熱性痙攣)	回復	頭痛、咽頭痛有り受診。治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。本剤服用翌日、顔面蒼白、全身の強直性痙攣約1分が見られた後、覚醒し頭痛を訴えた。救急外来受診、本剤投与中止。翌日、解熱のため無投薬で経過観察。3日後、インフルエンザ回復。
138	B-05005032	女	5■歳	不明		精神症状(精神症状)	回復	頭痛・発熱有り受診。インフルエンザと判断され、治療目的にリン酸オセルタミビル投与。5時間後、突然興奮、過換気状態となり救急搬送される。翌日、不穏状態改善。10日後、全身状態良好となり退院。
139	B-05005388	男	■カ月	33 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキソール d-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸プロカテロール アセトアミノフェン	脳症(急性脳症) 肺水腫(肺水腫) 心停止(心停止)	後遺症	感冒様症状有り、受診しインフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。2日後、覚醒した後、四肢脱力・呼吸停止となり、救急搬送される。急性脳症と診断され処置をとる。翌日肺水腫は消失。その後、人工呼吸器離脱し、リハビリ開始となる。寝たきりの状態となり、外来で通院加療となる。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
140	B-05007134	女	3■歳	150 mg	アセトアミノフェン レバミピド ジプロフィリン・ジヒドロコデイン配 合剤 塩化リゾチーム	頭痛(頭痛) 嘔吐(嘔吐) 悪心(嘔気)	回復	発熱有り受診し、インフルエンザと診断される。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。翌日は通常通り服用。その翌日、朝本剤投与した後、解熱するも、頭痛、嘔気、嘔吐認め入院となり、点滴施行。5日後、症状軽快。
141	B-05016248	女	■カ月	36 mg	カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニラミン	ヘモフィリス菌性髄膜炎(イン フルエンザ桿菌による細菌性 髄膜炎) 硬膜下ヒグローム(硬膜下水 腫)	未回復	B型インフルエンザ発症。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤投与終了後、1ヶ月後にインフルエンザ桿菌による細菌性髄膜炎発現。けいれん嘔吐のため救急搬送される。本剤投与終了後約1.5ヶ月後、硬膜下水腫発現。細菌性髄膜炎は軽快したが、硬膜下水腫は未だ回復せず。現在入院中。
142	B-05017977	女	6■歳	75 mg		意識消失(意識消失)	回復	B型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与。1cap服用後、意識消失発現。救急搬送される。翌日退院となる。回復時期は不明。
143	B-05017979	女	1■歳	150 mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩化リゾチーム 含嗽吸入原液ミチノ 塩酸ジフェニルピラリン インドメタシン	意識レベルの低下(意識障 害)	後遺症	高熱、感冒症状にて受診しインフルエンザと判断される。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤投与2日後、症状軽快にあるも微熱、感冒症状認めるため本剤服用。就寝し翌朝応答無く容体異常に気付き、救急搬送される。意識障害重篤。その約5ヶ月後意識が徐々に回復。現在、リハビリ入院中。意識ははっきりしており、記憶の一部に喪失あるも、応答可能であるが、下半身麻痺あり。
144	B-05018239	女	3■歳	150 mg	インドメタシン アザチオプリン プレニゾロン シクロスポリン ポビドンヨード ベンズプロマロン ファモチジン ラクトミン タンニン酸アルブミン メクロプラミド イソプロピルウノプロストン リスペリドン メコバラミン メフェナム酸	精神症状(精神神経症状(不 穩、眼右のちらつき、手足の しびれ)) 急性腎不全(急性腎不全) 下痢(下痢) 脱水(脱水)	軽快	腎不全の既往あり。発熱、寒気有りインフルエンザと診断され、治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤服用翌日に水様性下痢が出現。本剤服用2日後、急性腎不全、下痢、脱水、軽度の不安感が発現。本剤服用5日後、つじつまの合わないことを話しパニック障害様症状あり、本剤服用7日後、不安感消失。約4ヶ月後、急性腎不全、下痢、脱水、精神症状回復。さらに4ヶ月後、自覚的にほぼ完全に回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
145	B-05020337	男	■歳	51 mg	ヒベンス酸チペピジン 塩酸アンブロキシール フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン	譫妄(せん妄)	回復	A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを治療目的に投与。本剤服用4時間後、異常行動、せん妄が発現。その3時間後、異常行動改善。さらにその4時間後、異常行動発現。その後、せん妄回復し退院となる。
146	B-05020702	女	■歳	105 mg	ヒベンス酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン シャゼンソウエキス	意識レベルの低下(意識障害) 嚥下障害(嚥下障害) 構音障害(構音障害)	回復	発熱、上気道炎のため消炎剤等投薬、発熱等発症後4日経過してからインフルエンザと診断しリン酸オセルタミビル投与。その翌日嚥下障害、構音障害発生、3時間後意識レベル低下、入院治療、本剤投与中止。3日後解熱し、8日後に回復退院。
147	B-05021108	女	1■歳	150 mg	マレイン酸フルフェナジン ロフラゼプ酸エチル 塩酸プロメタジン エチゾラム	幻覚(幻覚) 妄想(妄想)	軽快	3年前からうつ病発症。39°Cの発熱により、リン酸オセルタミビル投与。翌日幻覚、妄想が発現したため入院。観念奔逸、幻覚妄想状態が5ヶ月続き軽快退院。以後3年間脳波測定に異常所見あり。現在もうつ状態で通院中。
148	B-05021110	女	4■歳	150 mg	ゾニサミド カルバマゼピン フェニトイン アセトアミノフェン	自殺念慮(精神症状(幻覚、希死念慮)) 幻覚(精神症状(幻覚、希死念慮))	軽快	てんかんの既往ありのためゾニサミドを継続投与。今回発熱、てんかん発作で入院し、翌日インフルエンザA診断確定、リン酸オセルタミビル投与開始。その2日後、精神症状(幻覚、希死念慮)発現。症状最終発現日は不明だが、発現2日後には希死念慮の訴えは消失していたと考えている。その後2ヶ月間精神症状の再燃はない。
149	B-05021404	男	■歳	99 mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン ヒベンス酸チペピジン ジアゼパム フェノバルビタール ビフィズス菌製剤(4) 酪酸菌製剤 塩酸プロカテロール カルボシステイン 塩酸アンブロキシール	意識レベルの低下(意識レベル低下)	回復	2日前から発熱(40°C)インフルエンザB診断確定後リン酸オセルタミビル投与開始。翌日夜からろれつが回らずうわ言の内容が聞き取れなくなり、手探り動作、意識レベルの低下発現。意識レベル低下発現2日後本剤投与中止と共に意識レベル徐々に回復。意識レベル低下発現8日後に回復となる。担当医によると症状発現中の頭部MRIの所見はインフルエンザ脳症として非典型的。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
150	B-05021660	男	■歳	不明	アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱(40.0℃)、咳、咽頭痛にて、本剤服用。その後、解熱剤服用。この頃より異常行動(トイレの場所がわからない、いない人が見える等)発現。入院し、採血、CT、MRIに異常なし。本剤から、シメトレルに変更するも異常行動(足をバタバタして突然歌う、急に教科書の文章を読む、いない人、物が見えるなど)翌朝まで持続。朝以降、異常行動(意識障害)消失、解熱傾向。3日後、退院。
151	B-05021995	男	■歳	34 mg	塩酸ツロブテロール ヒベンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン	痙攣	回復	1歳時に熱性痙攣の既往歴あり。高熱、咳のため、確定診断後、本剤投与開始。翌日、本剤投与5時間後、嘔吐、チアノーゼ、一点凝視が続き、救急車にて来院。頭部CT異常なし。脳波棘波、左右差あり、てんかんと診断し入院となる。ジアゼパムを計3回使用。けいれん発作発現し、同日回復。その後、退院。以後けいれんなし。
152	B-05022003	男	■歳	不明		譫妄 異常行動 落ち着きのなさ	軽快	既往歴として無菌性髄膜炎あり。発熱(38.6℃)にて受診し、本剤処方される。本剤服用後、意味不明の言葉、意味不明の行動、不穏発現(5~10分間)。救急車にて来院、来院時は意識障害なし。点滴し、2時間経過観察するが、譫妄、異常行動、不穏軽快。帰宅
153	B-05022091	男	■歳	84 mg	セフジニル 酢酸維持液 ソリタT-1	異常行動	回復	発熱(38.6℃)にてインフルエンザ陰性であったが、本剤処方。投与後、嘔吐あり。2回目服用後、異常な発言を行い、救急車にて来院、入院となる。入院時、意識正常、異常言動なし。本剤は、中止とした。
154	B-05022245	男	4■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤 イブプロフェン	うつ病	回復	咳、発熱のため受診し、PL顆粒投与。確認診断後、本剤投与開始。服用終了1日後、自信のない感じ、不安感、不眠などのうつ状態発現。仕事内容、信号等が理解できなくなる。意欲減退。他院受診、入院となり抗うつ剤、睡眠導入剤を処方。2日間、うつ病よりも意識レベル低下か幻覚の状況であり、診断途中、異常な発言あり。その後うつ状態は回復し、退院となる。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
155	B-05023106	女	2■歳	150 mg	ドンペリドン アセトアミノフェン	脳炎	回復	嘔吐、発熱にて受診、インフルエンザ検査できないが、本剤他処方。 翌朝、奇声等精神症状発現し、精神科入院。 呼吸困難、意識混迷、脳炎として加療。半年後歩行可能となり、1年後後遺症なく退院。
156	B-05023472	男	■歳	60 mg	プラナルカスト水和物 カルボシステイン プロピオン酸ベクロメタゾン クロモグリク酸ナトリウム ツロブテロール アミキシシリン アセトアミノフェン	譫妄 幻覚 眼瞼機能障害	回復	発熱(38.6℃)、咳、鼻症状、にて、本剤処方。服用後、まばたきが多くなる(体温:39.7℃)。 2回目服用後、幻覚症状発現し、30分ごとぐらいに3回繰り返す。深夜、救急にて受診(体温:38.3℃)処置なし。 翌朝、幻覚、異常なまばたき、うわごと回復。本剤中止。 7日後、インフルエンザ回復
157	B-05023594	男	4■歳	150 mg	塩酸パロキセチン水和物	感覚鈍麻 振戦	軽快	インフルエンザため、本剤投与開始。5日後、腕のしびれ感、ふるえ発現。 脳梗塞の疑いから検査を行うが所見なし。投与中止。 3日後、軽快
158	B-05023787	男	1■歳	75 mg		意識レベルの低下 譫妄	回復	発熱(38.8℃)、頭痛、咳、咽頭痛にて確認判定後本剤処方。内服開始後、ふらつき自覚。 翌日、服用しふらつきあり。 深夜、体温37.8℃意識障害(海で自分が溺れている錯覚を感じる等)発現するが1時間程で消失。 翌朝、本剤服用中止。
159	B-05023795	女	■歳	22.5 mg		幻覚 落ち着きのなさ	軽快 軽快	発熱(39.1℃)のため医療機関を受診し、その後リン酸オセルタミビルを服用。約3時間後に幻覚と不穏が発生し、4時間継続した。翌日の朝も発熱(39.5℃)していたものの、午前10時頃には37.5℃に解熱していた。その後、リン酸オセルタミビルを服用し、約1時間後に幻覚が発生し、約2時間で幻覚が消失した。
160	B-05023797	男	■歳	96 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキソール 塩酸シプロヘプタジン イブプロフェン	幻覚	回復	A型インフルエンザで高熱(39℃)のところを受診し、その後リン酸オセルタミビルを服用。約3時間後に幻覚が発現した。入眠するも、翌朝に覚醒後に再度幻覚が発現し、40℃の高熱であった。昼過ぎには幻覚症状が消失し、体温も37℃以下であった。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
161	B-05023886	男	■ カ月	30 mg	プラナルカスト水和物	痙攣	軽快	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビルを6日間服用した翌日、痙攣発作が見られた。44日後にけいれん重積発作が軽快した。
162	B-05023888	男	4 ■ 歳	75 mg	維持液(ブドウ糖加)(2) 生理食塩水 開始液(1) 塩化ナトリウム 非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン 濃グリセリン・果糖	落ち着きのなさ	回復	不眠、嘔吐、こむらがえり、全身倦怠感で入院。著しい低Na血症(110mEq/l)で点滴にて補正試みる。約1ヶ月後、発熱(39°C)、全身倦怠感でインフルエンザA型確定診断後、本剤投与開始。当日は著変なし。翌日、心電図モニターを自己ではずす、採血をさせないといった行動あり。その1時間後から不穏発現。(無表情、発話なし、食事を食べない)その翌日、不穏回復(発話等に問題ない状態となる)入院から約3週間後、退院
163	B-05024101	男	3 ■ 歳	150 mg		健忘	回復	インフルエンザの治療で余ったリン酸オセルタミビルについて、頭痛に対して服用し、約40分後に区間健忘発現。数日後に記憶が戻るが、その間の記憶が消失している。記憶が戻った後は特記すべき事象が見られなかった。
164	B-05024259	男	4 ■ 歳	75 mg	塩酸セフカペンピボキシル 維持液(3) アセトアミノフェン レバミピド	異常行動 痙攣 失神	回復 回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.3°C)が見られ、リン酸オセルタミビル75mgを夕方に服用。当日の午後7時頃、失神を起こし、検査にて重度の不整脈が確認された。その後、症状は回復している。
165	B-05024490	男	1 ■ 歳	150 mg	クラリスロマイシン	幻覚 易興奮性	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.0°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用開始。投与開始から3日目に幻覚及び興奮が出現した。リン酸オセルタミビルの服用を中止し、投与開始から5日目にインフルエンザが軽快し、幻覚及び興奮は発現から4日目に回復した。
166	B-05024607	男	■ 歳	36 mg	ヒペンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキソール 塩酸シプロヘプタジン ツロブテロール アセトアミノフェン	痙攣	回復	インフルエンザ確定診断でインフルエンザウイルスが検出されなかったものの、姉がA型インフルエンザに感染していたことと発熱が見られたことからリン酸オセルタミビルの投与開始。投与開始から約7時間後に下肢伸展の強直性痙攣が約1分半見られた。投与開始から3日目の早期にも痙攣が見られ、リン酸オセルタミビルの投与を中止。その後、痙攣も回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
167	B-05024745	男	■歳	40 mg	臭化水素酸デキストロメトर्फアン 塩酸アンブロキシール	幻覚	回復	以前にリン酸オセルタミビルを服用して、幻覚が発現した既往がある。 A型インフルエンザで発熱(39.3℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用。服用開始から約4時間後に幻覚症状が発現し、リン酸オセルタミビルの内服を中止。その後、幻覚症状は回復した。
168	B-05024829	女	■歳	不明		幻覚	不明	担当医の協力が得られずに詳細不明。
169	B-05024830	女	4■歳	150 mg	塩酸アンブロキシール 臭化水素酸デキストロメトर्फアン 塩酸エピナスチン	意識消失	回復	A型インフルエンザで発熱(37.9℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始。投与開始初日の夜に一過性の意識消失が見られた。意識消失は当日中に回復し、その後もリン酸オセルタミビルの服用を継続し、投与開始から4日目にリン酸オセルタミビルの服用を中止した。その後も特記すべき所見は認められなかった。
170	B-05024834	女	1■歳	75 mg		痙攣	回復	A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを服用。服用から約3時間後に数秒の痙攣が発現し、自然に収まり、回復した。
171	B-05024836	女	4■歳	75 mg	維持液(5) チアミンジスルフィド・B6・B12配合剤 ゾピクロン エチゾラム	易興奮性	回復	A型インフルエンザで発熱(38℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約30分後に興奮状態になる。その後、興奮状態が軽快した。
172	B-05024962	女	5■歳	150 mg	アセトアミノフェン	嘔吐 悪心 頭痛 頭部不快感	回復 回復 回復 回復	A型インフルエンザで発熱(36.9℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始から2日目に悪心、嘔吐、頭痛、頭部不快感が発現し、リン酸オセルタミビルの服用は投与開始から3日目の投与終了までで中止した。その後、悪心、嘔吐、頭痛、頭部不快感の発現から約20日後に症状が回復した。
173	B-05025356	女	50歳代	不明		痙攣	未回復	リン酸オセルタミビル5日間処方され服用開始。眼の周りが痛い、痙攣発現。本剤2日分服用にて中止。痛みが出てから1週間以上経過するも改善せず。副作用の発現時期等詳細不明。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
174	B-05025592	女	4■歳	150 mg		うつ病	回復	流感としてリン酸オセルタミビル処方(確定診断は行っていない)。前日の10時38.1°C。服用開始2日後に解熱。3日目より抑うつ状態発現、投与開始後6日目に本剤投与中止。投与中止1日後インフルエンザ軽快、うつ状態持続。中止4日後うつ状態消失。
175	B-05025712	男	■歳	78 mg		譫妄	回復	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(39°C)。服用開始後3日目に譫妄出現し本剤投与中止。投与中止2日後に譫妄回復。その翌日にインフルエンザ軽快、回復。
176	B-05025713	女	■歳	不明		錯乱状態	回復	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(39.2°C)。夜、本剤2回目服用約1.5時間後に興奮状態、錯乱発現(目が据わり壁に向かって叫び、次に高笑い)。翌朝本剤服用時、味が悪いと少し嘔吐、以降本剤服用せず。夜、体温37.6°C。錯乱回復するが回復時期は不明。
177	B-05025715	女	1■歳	225 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルフアン	意識レベルの低下	軽快	本剤を誤って75mg×3回/日で3日間服用後4日目1回服用し服用終了。服用開始2日目に解熱。服用開始3日目に意識障害(喋り方が緩慢になる)発現。服用終了1日後に軽度意識障害等あり入院。服用終了5日後意識障害軽快。
178	B-05025716	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルフアン	意識レベルの低下	軽快	インフルエンザ治療(確定はしていない)のためリン酸オセルタミビル服用開始(39°C)。服用開始3日後解熱、夕方より意識障害(会話が通じずボーっとしていることが多い)発現。その後も意識障害継続。本剤5日間服用終了翌日に近医で意識障害指摘され入院。やや前頭葉に優位に広汎性の高振幅θ waveが頻発。炎症性脳炎、ウイルス性脳炎の可能性のためステロイド、アシクロビル投与開始。意識障害発現後13日後に軽快、脳波異常も消失。
179	B-05025717	男	■歳	75 mg		大発作痙攣	回復	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始。服用1時間40分後硬直・間代性痙攣出現、約5分間持続。30分後救急車にて入院。病院到着時呼び掛けには応じるが、指の不随意運動が見られていた。入院後は全く元気だが高熱は持続、本剤の投与は中止。6日後に解熱し退院。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
180	B-05025795	男	■歳	50 mg	ジアゼパム	浮動性めまい	回復	発熱し全身性痙攣があったため近医受診、A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビルを夕方より服用開始(嘔吐、下痢有り、発熱39℃)。翌日再度痙攣がありジアゼパム坐剤投与。本剤服用3日目解熱(37.2℃)したが、歩行時のふらつき出現。その翌日も歩行時のふらつき改善しないため入院。入院3日目歩行時のふらつき消失。朝、本剤服用終了。翌日インフルエンザ軽快し退院。
181	B-05025796	女	■歳	39 mg	アセトアミノフェン リン酸ジメモルファン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン	回転性めまい 幻覚	回復	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビルを夕方より服用開始(38℃)。翌朝服用直後より回転性めまい、幻覚が発現し入院し本剤中止。症状は2時間程度持続した。その後症状消失したが、発熱は持続。入院5日後解熱し、インフルエンザ軽快・回復したため退院。
182	B-05026111	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン	幻覚	回復	A型インフルエンザ治療のため昼食後にリン酸オセルタミビルとアセトアミノフェン服用(38.9℃)。20分後に嘔吐し幻覚発現。服用2時間後受診時、発熱(40℃)、全身倦怠感著明だが、意識清明で応答も普通であった。翌日解熱傾向(37℃台)となり意識障害、幻覚なし。
183	B-05026114	男	1■歳	130 mg	ラクトミン	妄想	軽快	A型インフルエンザで発熱(39.0℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から2日目にインフルエンザが軽快(体温37.0℃)したものの、リン酸オセルタミビルの服用を5日間続けた。服用開始から3日目に妄想が発現し、約9日後に軽快した。
184	B-05026235	男	8■歳	75 mg	グリクラジド アスピリン・ダイアルミネート メコバラミン 非ピリン系感冒剤(4) ゲファルナート ジクロフェナクナトリウム	失神	回復	インフルエンザ発症で入院し、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から2日目の朝に失神が発現し、約2~3分で意識が回復した。同日の夜にはインフルエンザも軽快した。
185	B-05026500	男	7■歳	150 mg		幻覚	回復	A型インフルエンザで発熱(38.9℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3日目に不穏等が発現し、その後幻覚も見られた。服用開始から4日後に服用を中止し、幻覚は発現から5日目に回復した。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
186	B-05026593	男	■歳	50 mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン	譫妄	不明	A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から約2時間半後にせん妄が見られ、約30分持続した。その後、リン酸オセルタミビルの服用は中止した。
187	B-05026626	男	1■歳	120 mg	鎮咳去たん配合剤(1)	痙攣	回復	A型インフルエンザで発熱(39°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の夜に痙攣が生じ、回復した。投与開始から5日目にインフルエンザが軽快、回復した。
188	B-05026848	男	1■歳	150 mg	塩化リゾチーム 塩化デカリニウム	意識レベルの低下 痙攣	回復 回復	インフルエンザ確定診断で陰性だったが、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始から2日目に意識レベルの低下と痙攣が発現し、後ほど回復した。リン酸オセルタミビル服用開始から4日目に服用を中止した。
189	B-05026980	女	1■歳	150 mg		痙攣 意識レベルの低下		A型インフルエンザで発熱(37.5°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始する。投与開始から2日目に解熱したが、リン酸オセルタミビルは4日間服用した。投与開始から5日目に意識レベルの低下と痙攣が発現し、5分程度持続した。その翌日、意識レベルの低下と痙攣が軽快した。 なお、頭蓋骨骨折と頭部外傷の既往があり、脳波異常は未回復のままであった。
190	B-06000039	男	1■歳	75 mg	セフテラムピボキシル	痙攣	回復	A型インフルエンザで発熱(39.2°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の夜に全身の痙攣が見られ、翌日の朝に回復した。リン酸オセルタミビルの投与は1回で中止した。
191	B-06000102	女	3■歳	75 mg	トラネキサム酸 カルボシステイン	痙攣 意識レベルの低下	軽快 軽快	A型インフルエンザで発熱(38.9°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の夜に全身痙攣及び意識障害が見られ、十数分で回復した。 熱性痙攣、てんかん等の既往歴はない。
192	B-06000460	男	1■歳	140 mg	アセトアミノフェン カルボシステイン 鎮咳配合剤(1)	幻覚	回復	A型インフルエンザで発熱(38.5°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始日の夜に幻覚が発現し、病院で血液検査と頭部CTで異常が見られなかった。幻覚は回復した。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
193	B-06000632	女		不明		痙攣	不明	詳細不明
194	B-06001134	男	40歳代	不明		失神	不明	詳細不明(担当医の協力が得られなかった。)
195	B-06002230	男	■歳	不明	プロピオン酸フルチカゾン	痙攣	回復	A型インフルエンザで発熱(39.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から約1時間後に痙攣が発症し、約5分後に回復した。その後、リン酸オセルタミビルの服用は中止した。痙攣の既往歴あり。
196	B-06003837		10歳代	不明		昏睡	不明	詳細不明(担当医の協力が得られなかった。)
197	B-06006096	男	■歳	不明		幻覚 妄想	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(41℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から約5時間後に幻覚及び妄想が発症し、約5分後に回復した。その後も幻覚及び妄想が見られた。
198	B-06015552	男	■歳	60 mg	ヒベンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン 維持液(3) コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム トリクロホスナトリウム 抱水クロラール カルボシステイン	意識レベルの低下 痙攣	回復 回復	A型インフルエンザの治療のためにリン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から約1時間後に痙攣及び意識障害が発現。痙攣は3分程度で止まり、救急センター受診後にジアゼパム坐剤を服用し、意識障害も回復した。転院後、ぼーっとした様子が見られ、併用薬の使用もしている。リン酸オセルタミビル服用開始から2日目で降もリン酸オセルタミビルを使用している。
199	B-06016148	男	■歳	不明	セフジトレンピボキシル カルボシステイン	意識レベルの低下 痙攣 頭痛	回復 回復 未回復	詳細が不明。 インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビルの服用を開始した。意識レベルの低下、痙攣、頭痛はリン酸オセルタミビル服用終了後7~8日後に発現した。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
200	B-06017777	女	8歳	150 mg	ソビクロン アセトアミノフェン 塩酸アンブロキシソール キョウニン水 ベシル酸アムロジピン テルミサルタン 塩酸ジフェニドール スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	譫妄	回復	脳梗塞、脳腫瘍手術、不眠症の既往歴あり。インフルエンザ確定診断後、肺炎疑いで入院。翌日よりリン酸オセルタミビル投与開始。2日後夜間、つじつまの合わない会話あり、せん妄発現。4日後以降症状なし、4日後投与終了。
201	B-06020356	女	1歳	150 mg	イブプロフェン ファロペネムナトリウム	意識レベルの低下	軽快	インフルエンザテストでは陰性。発熱があり、リン酸オセルタミビル、イブプロフェン、ファロペネムナトリウムを投与開始。3日後、意識混濁、尿失禁などにより入院。意識障害、不穏状態、脳波にて高振幅の徐波が全般的に認められたことから脳炎脳症と診断。12時間後ぐらいから意識回復。翌日元気になるが、脳波異常は残っている。
202	B-06022862	男	1歳	150 mg	なし	意識レベルの低下	回復	迅速キットにて陰性であったが、臨床症状に鑑み、予防目的でリン酸オセルタミビル75mgx2回/日投与開始。翌日、意識障害(意識レベルの低下)発現。6日後、意識障害回復、退院。
203	B-06023781		■歳	不明	不明	痙攣	不明	本剤服用後、痙攣を起こした。詳細不明(担当医の協力が得られなかった)。
204	B-06023790	男	1歳	36 mg	カルボシステイン ザナミビル水和物	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル内服後、30分後に異常発言あり。その30分後、異常発言回復。
205	B-06024209	女	■歳	24 mg	なし	意識レベルの低下 筋骨格硬直 異常行動	回復	インフルエンザ発症時に発熱(39.4℃)、咳、倦怠感。リン酸オセルタミビルを服用2時間後、手のみ硬直した様子。ろれつが回らない様、赤ちゃん言葉の様なものを発していた。その約2時間後受診、意識は清明、麻痺なし、応答も明瞭。
206	B-06024210	女	■歳	72 mg	アセトアミノフェン	幻覚	回復	リン酸オセルタミビル服用後、熱が40℃になり、アセトアミノフェンを服用し1時間位就寝。目覚めた際に幻覚症状の訴えあり。その後症状なし。4日後インフルエンザ症状回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
207	B-06024213	男	1歳	150 mg	カルボシステイン 塩化リゾチーム 塩酸プロムヘキシシ	意識レベルの低下 異常行動 呼吸困難	回復	リン酸オセルタミビル2回目服用後、約2時間後に異常行動、意識混濁が発現。熱が高そうな状態で、寝起きに意味不明なことを言う。その5分後には回復している。さらに1時間後に息苦しさを訴え、外来受診するが異常なし。
208	B-06024320	男	1歳	69 mg	アセトアミノフェン 塩化デカリニウム	幻視	回復	4~5年前にリン酸オセルタミビルの服用歴があり、問題はなかった。39.3℃、咽頭痛、頭痛、傾眠から臨床的にインフルエンザと診断。リン酸オセルタミビル1回目服用後、2時間後に異常な発言があり、母親の問いかけに「夢か現実かわからない」という。翌日早朝、38.0℃。幻覚様症状継続。昼前には幻覚様症状なし。
209	B-06024412	男	1歳	75 mg	なし	神経症	回復	リン酸オセルタミビル服用後、約1時間後にうなり始め目はうつろ。突然目を見開いて泡を吹き意識なし。1~2分後に反応して舌を出す。経過観察のため入院、3日後回復。
210	B-06024664	女	1歳	不明		幻覚	軽快	リン酸オセルタミビルを服用し寝ていると、急に起きて「黒いものが見えて怖い」と言い、嘔吐し震えていた。以降服用は中止し、翌日軽快。
211	B-06024913	男	2歳	150 mg		感覚鈍麻 振戦 無力症	軽快	4年前に本剤内服しているが問題なし。A型インフルエンザと診断、本剤投与2~3時間後、しびれ、手の振るえ、脱力感発現。翌日も回復しないため、他院入院し午後症状改善。
212	B-06024994	男	■歳	不明		幻覚	不明	本剤投与2時間後に幻覚発現
213	B-06024996	女	2歳	75 mg		感情不安定 譫妄	回復	本剤投与開始後、呼吸があらくなり、入院し、せん妄状態、感情失禁発現。本剤、投与中止。投与中止後も約2時間毎にせん妄状態と覚醒状態を繰り返す。2日後、退院
214	B-06025003	女	1歳	120 mg		悪夢	軽快	本剤投与開始後、悪夢(大きなクモがいる)出現。その後に悪夢軽快。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
215	B-06025005	女	1■歳	150 mg		悪夢 幻覚	軽快	高熱(39℃)、インフルエンザB型治療の為、本剤投与開始。 本剤投与後、幻覚(小さな光がたくさん見える)、幻想(光に吸い込まれそうになる)、悪夢(爆弾が仕掛けられ爆発しそうな体験)出現。 投与中止後、悪夢、幻覚、幻想軽快
216	B-06025201	男	■歳	不明		意識レベルの低下 異常行動	回復	インフルエンザのため、本剤処方。その夜、異常行動(ボーっとする。何も無いところをつかもうとする)、異常行動が発現し、入院。翌日、解熱し異常言動消失。2日目、退院。
217	B-06025414	女	1■歳			計算力障害 譫妄 錯覚 聴覚過敏	未回復	本剤投与開始後、音に異常反応を示す、異常知覚、せん妄、計算障害発現。 翌日、投与中止。 現在、症状未回復。
218	B-06025517	男	6■歳	150 mg	アセトアミノフェン	意識消失 異常行動	回復 不明	本剤、カロナール投与開始後、意識不明、転倒発現。 翌日、意識不明、転倒とも回復
219	B-06025579	女	1■歳	75 mg		異常行動 尿失禁	回復	インフルエンザのため、本剤服用。 翌日、服用10分後ぐらいに異常行動(足ぶみをしたたり反応が悪かった)発現、尿失禁発現。 その翌日、異常行動、尿失禁とも回復。
220	B-06025580	男	1■歳	100 mg	アセトアミノフェン ソルデム1(点滴) ブドウ糖(点滴)	異常行動	回復	発熱(39.2℃)、倦怠感、嘔気にて、本剤投与。 その夜異常行動(弟が誰かに首を絞められていると必死に訴える行動、うつぶせになって手足をバタつかせる)あり、同日回復。 5日後、インフルエンザ軽快